

第三回 貴族院議事速記録第二十四號

明治二十五年六月十一日(土曜日)

午前十時三十七分開議

議事日程 第二十四號 明治二十五年六月十一日

午前十時開議

- 第一 鐵道敷設法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第二 砂鑛採取法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第三 新聞紙法案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員)
- 第四 出版法案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 昨日議決ニナリマシタル岐阜愛知二縣下震災

救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件、及愛知岐阜富山福岡四縣土木費補助トシテ明治二十四年度豫算外支出ノ件ハ其旨ヲ即日內閣總理大臣ヲ經由致シマシテ上奏ニ及ビマシタ、及衆議院ニ通知致シマシテゴザリマス、昨日衆議院ヨリ政府提出本院廻付小包郵便法案及本院提出民法商法施行期限延期法律案ヲ議決ニナリマシタ旨ノ通牒ヲ受領致シマシテゴザリマス、次ニ本日ノ議事日程ニ先ダチマシテ昨朝本院ニ於テ金子爵ノ動議ニ依ッテ衆議院ヨリノ通牒ニ對スル本院ヨリノ通牒文ヲ決シマシテ直ニ送リマシタル所、尙ホ又衆議院ヨリ通牒ガ參リマシテゴザイマス、之ヲ朗讀ヲ致サセマス、

(金子書記官朗讀)

本日貴院ヨリ更ニ御回付ノ明治二十五年年度豫算追加案ハ既ニ昨九日本院ニ於テ其回付ヲ受クヘキモノニアラスト決議シタルモノニ付直ニ及返送候也

明治二十五年六月十日

衆議院書記官長 水野 遵
衆議院議長 星 亨

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

○三浦安君 此衆議院ヨリノ通牒ノ御報告ニ付キマシテハ本員ヨリ緊急動議ヲ提出致サスナリマセヌ、此事ハ容易ナラザル事件デゴザリマスルデ斯ク成行キマシタ以上ハ此儘デハ相濟ミマセヌノデゴザリマス、即チ緊急動議ヲ提出致シテ其意見ヲ述ベタウゴザリマス、

貴族院議事速記録第二十四號

明治二十五年六月十一日

議長ノ報告

議事日程變更

三三一

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待チテ請ヒマス、是レハ動議ヲ御提出ニナルコトデアレバ矢張り議事日程ヲ變更致サシバナリマセヌ、然ルニ本日ノ議事日程ノ第一ニ掲ゲテアルノハ政府案デゴザリマスルカラ、議事日程ヲ變更スルコトニナリマスレバ政府ノ同意ヲ得チバナラス、

○三浦安君 然ラバ先ヅ議事日程ヲ變更スルコトノ動議ヲ起シマス、

○子爵平松時厚君 贊成ヲ致シマス、

○子爵鳥尾小彌太君 一旦如何ノ動議デアルト云フコトヲ聞定メタ上デ夫レヲ議題ニスルヤ否ヤト云フコトデ、議題トスルコトニ定ツテ始メテ議事日程ノ變更ガアルベキ筈ダト思ヒマス、唯緊急動議ヲ提出スルカラ議事日程ヲ變更スルト云フコトデハ果シテ議題トシテ論ズベキヤ否ヤト云フコトヲ認メ

ト思フ、一應其動議ヲ提出致サセタ上デ其動議ニ對シ議事日程ヲ變更シテ議ニ移ルヤ否ヤト云フコトヲ極メテ……

○村田保君 本員モ全ク鳥尾君ト同感デアリマスカラドウカ左様ナラムコトヲ望ミマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 鳥尾子爵ノ申サル、所モ至極尤ト存マラス

シ唯今村田君カラ御贊成モゴザイマスカラ、發議者ニ於テ一應其意見ヲ御述ベニナッテ然ル後議事日程ヲ變更スルヤ否ヤノコトニ移リマス、

(三浦安君演壇ニ登ル)

○三浦安君 此唯今議長ヨリ報告ニナリマシタル所ノ衆議院ヨリノ通牒ノ一件ハ即チ昨日ノ議事日程ノ前ニ於キマシテ金子爵ヨリ緊急動議ヲ以テ議事日程ヲ變更スルコトヲ政府ニモ承知致サレマシテ議事日程ヲ變更シテ衆議院ヘノ通牒ヲ議定致シマシテ通牒ニナリマシタルコトデゴザリマス、其通牒ノ趣意ハ全ク衆議院ニ於テ貴族院ノ追加豫算ニ於テ海軍省ノ軍艦製造費其他ヲ加ヘマシタルコトハ不合法ノ議決デアルカラシテ之ヲ返却シテ受付ケヌト云フコトデアリマシタ、即チ本院ニ於キマシテハ決シテ不合法デナイ合法ノモノト確定ヲ致シマシタ、是ニ於テ直ニ此場合ニナリマシタルバ即チ憲法ノ第四十九條ニ據リマシテ上奏ヲ致シテ御裁可ヲ請フヨリ外ニ道ハナイノデゴザリマスルケレドモ、併ナガラ上奏ハ容易ナラザルコトデアルニ依ッテ之ヲ衆議院ヘ再ビ返シ受領致サヌト云フコトニ致シタラバ、定メシ衆議院ニ於テハ一時ノ粗忽ニ氣ガ附キマシテ反省致シテ之ヲ程能クスルノ道ガアラウト慎重ノ手順ヲ盡シマシテ衆議院ヘハ受領ヲセヌト云フコトデハ心附クシタノデゴザイマスルガ奈何セム衆議院ニ於キマシテハ之ヲ議事ニモ掛ケマセズ直ニ即刻……直ニト云フ文言ヲ以テ貴族院ヘ再ビ返シマシテゴザリマス、左スレバ折角ノ注意ヲ致シ折角慎重ノ手續ヲ履ミマシタケレドモ衆議院ニ於テハ反省スルノ道

ガナイノデゴザイマス、事茲ニ至ッテ見マスレバ昨日諸君ノ御論ノアリマシ
タ中別シテ木下廣次君ノ論シマシタ所ノ通り豫算案ニ對シテ貴族院ハ之ヲ修
正スルノ權利ノアルコトハ是レハ無論デゴザイマス、然ルニ衆議院ニ於テ之
ヲ不合法ナリトシテ再ビマデコチラニ返付スルニ至リマシテハ其説ノ儘ニ致
シテ置キマスレバ貴族院ノ豫算議定權ト云フモノハ消滅シテ仕舞ヒマス、即
チ憲法ニ於キマシテ先議權ハケデアッテ決シテ之ヲ修正スルニモ之ヲ討議ス
ルニモ衆議院ト貴族院トノ辨別ハ一點モゴザイマス、然レバ衆議院ヨ
リ説ヲ出スコトガナラヌト云フ意思ヲ以テ不合法ト見タモノト見エマス、然
レバ衆議院ニ於テ議定ヲ致シテ存在致シマシタ所ノ款項ニ付テホカ論ズルコ
トガ出來ヌ様ニナリマス、是レデハ先議權ノミナラズ全ク豫算案ハ衆議院ノ
專有トナルコトニ疑ハゴザイマス、是レハ大イニ憲法ニ背キマスルノミナ
ラズ此邊ノコトニナリマスレバ前以テ協議ノ仕様モアルベキニ不合法ナリト
議決シテ返付ニナッタト云フコトハ誠ニ其道ヲ得ヌ其意ヲ得ヌノミナラズ大
イニ貴族院ヲ侮辱シ併セテ憲法ヲ侮辱スルト云ッテモ宜シイモノデゴザイマ
ス、最早其上ノコトハ喋々述ベマセヌガ茲ニ至リマスレバ之ヲ再ビ念ヲ入
レマシテモ反省ノ道ガナイ以上ハ最早貴族院ノ權利ヲ保持シ憲法ヲ保護致シ
マスルニハ即チ憲法第四十九條ニ據リマシテ上奏ノ外ニ道ハゴザイマス、然
レバ茲ニ於テ議事日程
ヲ變更致シマシテ此上奏ニナル道ヲ議定スルコト云フコトニ此議場ヲ變ヘタウ
存ジマスルノデ、之ヲ御同意ニナッテ成立チマスレバ即チ定規ノ通り九名ノ
起草委員ヲ選定致シマシテ夫レニ起草セシメテ後ニ之ヲ議定スルコト云フ此手
順ニ相成リタイト存ジマス、即チ其起草委員ノ選定ハ最早時間モ迫ッテ居
リマスルシ忙シイ中デゴザイマスルカラ議長ニ選定ヲ委任シテ宜シイト存ジ
マス、願ハクハ此場ニ至リマシテハ上奏ヨリ外ニ一點モ通レ路ガナイト云フ
ニ依ッテ緊急議動ヲ御贊成アッテ此道ノ附カムコトヲ希望致シマス、

○子爵由利公正君 三浦君ノ勸議ヲ贊成致シマス、
○櫻井伊兵衛君 三浦君ニ贊成、
○箕作麟祥君 三浦君ニ贊成致シマス、
○小原重哉君 三浦君ノ説ヲ贊成、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三浦君ノ勸議ニハ贊成モゴザイマス、依ッ
テ議事日程ヲ變更致シテ三浦君ノ勸議ヲ直ニ議スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマ
ス、議事日程ヲ變更シテ三浦君ノ勸議ヲ直ニ議スベキトスル諸君ノ起立ヲ請
ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、依ッテ議事日程ヲ變更ス
ルニ決シマシタ、依ッテ政府ノ同意ヲ求メルコトニ致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 直ニ政府ノ同意ヲ得マシテゴザイマス、依ッテ
議事日程ヲ愈々變更致シマシテ直ニ三浦君ノ勸議ニ付テノ議事ヲ開キマス、

○公爵近衛篤磨君 本員ハ三浦君ノ上奏ニ贊成スル一人デアリマス、簡單
ニ其理由ヲ述ベタイト存ジマス、全體此同ノ豫算會議ノ時分ニ貴族院ハ如何
ニシテ此豫算ヲ議スルカト云フ方針ヲ定メテ議スベキデアリマシタノヲ曖昧
模稜ノ間ニ議決シタ譯デアリマス、夫レ故ニ衆議院ノ今日ノ舉動アルコトハ
豫メ分ツタ話デアラウト考ヘマス、私ハ此事ニ付テハ一己人トシテハ反對デ
アリマスルガ議院ノ決議ト云フモノハ最モ重ンズベキモノデアリマス、故
ニ今更反對ヲ試ルコトハ致シマセヌ、斯クナリマシタ上ハ實ニ已ムヲ得ナイ
場合デアリマスカラシテ我々同志ハ涕ヲ飲ンデ此上奏案ニ贊成ヲスルコトデ
ゴザイマス、

○清浦奎吾君 三浦君カラ先刻委員選定ノ議ガ出テ居リマスル様デゴザイ
マスガ、此委員ノ選定ハ公平ナル議長ノ選定ニ任セマシテ、而シテ議長ハドウ
カ至急ヲ要スルコトデゴザイマスルカラシテ午後ノ休憩ヲ待チマセズ直ニ御
指定アラムコトヲ望ミマス、且ツ此事タル片時モ棄置ケヌコトト本員ハ信ジ
マスル故ニドウカ此委員ノ選ニ當ラレマシタル諸君ハ時ヲ期シマシテ速ニ起
草ニ著手セラレムコトヲ希望シマス、成ルベクハ午後一時マデニ起草セラレ
テ議場ニ報道セラレムコトヲ望ムノデアリマス、然ル上議場ニ提出ニナッ
タナラバ直ニ可決シテ上奏ノ手續ニナラウト考ヘマス、委員選定ハ三浦君ノ
説ノ如ク議長ニ委託シテ議長ハ直ニ御指名ニ相成ッテ而シテ委員ハ午後一時
マデニ起草シテ議場ニ報道ニ相成ラムコトヲ希望シマス、

○男爵小松行正君 本員モ三浦君ノ議長ニ委託スルコト云フコトニ贊成デゴ
ザイマス、然シマシテ議長ニ於テ直ニ御選ビニナリ時間ヲ限ルト云フコトハ
清浦君ノ御説ニ贊成ヲ致シマス、

○藤村紫朗君 委員選定ノコトハ三浦君、又時間ヲ期スルコトナドハ清浦
君ノ御説ヲ贊成致シマス、ドウゾ議長ニ委託シテ選定スルコト云フコトニ決シ
マスレバ議長ハ御退キデナク其席直ニ御指名ニナルコトヲ希望致シマス、

○侯爵醍醐忠順君 贊成ヲ致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 三浦君ノ勸議ト並ニ唯今ノ清浦君ノ勸議ト自
ラニツデゴザイマスニ依ッテ先ヅ三浦君ノ勸議ヨリ先キニ決ヲ採ラウト存ジ
マス、三浦君ノ勸議ハ上奏案起草委員ヲ設クル、委員ハ定數即チ九名トシ議
長ニ於テ選定ニナル様ニ致シタイト云フ勸議デゴザイマス、三浦君ノ勸議ニ

賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、次ニ清浦君ニチヨット御確メ申シテ置キマスガ午後一時ト云フコトノ御發議ト存ジマスガ……

○清浦奎吾君 左様デゴザイマス、

○三浦安君 清浦君ノ時ヲ限ルト云フコトハ御同意デゴザイマスルガ、唯今ハ既ニ十一時デゴザイマスカラ午後一時ト云フト僅カアト二時間ホカゴザリマセヌデ、中ニ是レハ大事ナ事件デゴザリマスカラモウ一時間延ベマシテ午後二時ト云フトニ御協議ヲ致シマスカラ其方ニドウゾ御賛成ヲ請ヒマス、

○清浦奎吾君 至急ヲ要スルコト故一時ト申シマシタケレドモ一時位ハドチラデモ宜シウゴザリマスカラ御協議ニ應ジテ然ラバ二時ヲ以テ限リト致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 然ラバ清浦君ノ動議ハ二時ト云フトニ極リマシタ、賛成ガゴザイマスニ依ッテ決ヲ採リマス、清浦君ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 過半数デゴザイマス、依ッテ起草委員ハ一應退キマシテ議長ニ於テ選定ヲ致シマシテ選定次第直ニ議場ニ御集リヲ請ヒマス、其上デ時間ハ午後二時マデニ起草委員ニ於テ起草スルト云フトニ決シマス、一應休憩、

午前十時五十九分休憩

午前十一時十分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今本席へ御依託ニナリマシタル上奏案起草委員ヲ選定致シマシテゴザイマス、侯爵黒田長成君、子爵谷干城君、子爵由利公正君、子爵松平乘承君、男爵千家尊福君、細川潤次郎君、三浦安君、清浦奎吾君、木下廣次君、此九名ノ御方ニ御依託ヲ致シマス、議場ハ定足數モ満チテ居リマスニ依ッテ御退場ニナッテ御起草ニ御掛リニナルコトヲ希望致シマス、

〔三浦安君、侯爵黒田長成君、子爵谷干城君、男爵千家尊福君等〕委員席ニ退キマス〔ト述ベ退場ス〕

〔山川浩君發言ヲ求ム〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 未ダ議事ヲ開イテ居リマセヌ、次ニ鐵道敷設法案政府提出第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、

〔山川浩君「其前ニ一言……」ト述フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 山川君、

○山川浩君 此問題ハ重要ナコトデモアリマスシ今御選定ニナリマシタ方ハ十分皆此案ニ就テ御見込モアル方ト考ヘマスカラ上奏案ノ報告ガ濟ンダ後ニ此法案ノ議事ヲ御開キニナルコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 夫レハイケマセヌデゴザイマス、既ニ議事日程ニ據リマシテ開クコトヲ宣告致シマシタ、

〔古市公威君演壇ニ登ル〕

○古市公威君 諸君、鐵道敷設法案特別委員會ニ於キマシテハ本案ヲ可決スベキモノト議決致シマシタ、右特別委員長谷子爵ハ病ノ故ヲ以テ委員會ニ出席致サレマセナシテ、依ッテ本員代リマシテ此案ノ趣意ヲ辯明致シマス、鐵道ガ國家富強ノ要具デアルト申スコトハ今更喋々ヲ要セスコトト考ヘマス、又此鐵道ガ其效用ヲ十分ニ顯ハスニ至ルハ全國樞要ノ地ヲ貫聯致シマシテ所謂四通八達ノ便ヲ與フル様ニ至ラナケレバナラヌト云フトモ是レ亦諸君御承知ノコトデアリマス、然ラバ鐵道擴張ト云フ其事ニ就テハ別ニ異議ノアルベキコトデアアルマイト考ヘマス、要ハ唯其方法順序如何ト云フ所ニアラダラウト思ヒマス、デ此鐵道擴張ノ目的ヲ達スルタメニ政府ハ如何ナル考ヲ致シタカト尋テ見マスルト、今日マデノ如ク鐵道ノ大方針ト云フモノガ定マラズニ居ッテ時アッテ敷設ヲ願ヒ出ル者ガアレバ之ヲ許シ又必要ヲ感ズレバ政府デモ敷設スルト云フ有様デハ到底鐵道完成シテ十分鐵道ノ效用ヲ日本ニ見ルト云フトハムツカシイ、先ヅ鐵道大體ノ方針ヲ一ツ定メニヤナルマイト夫レ段々調査ヲ致シテ見タ所ガ、大體ニ付テ凡ソ將來日本ニ入用デアラウト思ハレル線路ノ長サガ五千餘哩アル、併ナガラ是レ未ダ實地ニ臨ンデ調査シタモノデナイ、是レ亦調査ヲ遂ゲテバナラヌ、即チ追加豫算ノ中ニ全國鐵道線路調査費ト云フモノヲ加ヘテ大體ノ方針ヲ定ムルコトヲ先ヅ一方デ極メ次ニ今日既ニ或ハ實測ヲ終ヘ或ハ實測セザルモ稍「精密ト云フテ宜シイ程ノ調査ヲ遂ゲテ敷設ノ目的モ立チ又鐵道ガ出來レハ相應ノ利益モアル、然シテ其他ノ殖産工業ノ發達及軍事上ニ對シテノ必要ト云フ所ヲ考ヘルト一日モ早く敷設シタ方宜シカラウト云フ線路モアリマス、其中ヲ六線撰ンデ之ヲ取敢ヘズ敷設スルコトニ政府自ラ其任ニ當ラウ、然シテ其費用ハ公債ヲ募ッテ之ニ充ツル、此考ヲ以テ政府ハ鐵道公債法案ト云フモノヲ帝國議會ニ向ッテ提出致シマシタ、又一歩ヲ進メテ考ヘテ見マスルト、今日マデ出來テ居ル鐵道ト云フモノガ一千七百哩バカリアル、然シテ其鐵道ハ先ヅ日本利益ノ多イ善イ土地柄ニ敷設シテアル、デ將來敷設スベキモノガ先ヅ大體ノ見込

ニ依リマスニアト三千幾百哩ト云フモノガ殘ツテ居ル、是レハ段々線路ガ困難ニナツテ來ル、デ將來ノ方ガ多クテ其多イノガ困難ナル、夫レガ完成シタ所デ初メテ一ツノ網ノ様ナモノガ出來ル、其間ニ種々ノ會社ガ介在シテ居ツテ線路ノ連絡鐵道經營ノ統一ニ於テハ餘程錯雜ナモノガ出來ル、又將來鐵道ノ擴張ト共ニ此運輸營業ガ段々開ケル、開ケルト夫レガ益メニ在來ノ鐵道ノ利益ト云フモノガ發達スル、何ニ依ツテ夫レガ發達スルカト云フト、將來ノ三千何百哩ノ鐵道ガ出來ルカラ發達スル、既ニ既成ノ鐵道ト云フモノハ其恩澤ヲ蒙ル、是レ等ヲ以テ考ヘテ見マスルト之ヲ統一シテ一ツノ手ニ纏メテ彼此相補フテ即チ甲ノ足ラサル所ヲ乙ノ餘裕ヲ以テ補フト云フ様ニ致シマスレバ宜シイガ、然セヌ時ニハ餘程將來ノ鐵道ニ向ツテ困難ヲ感ズル、又別ニ此鐵道ト云フモノハ元來國有ニ屬スベキモノダトカ郵便電信ノ様ナモノデトカ云フ考モ致シマシタガ、種々ノ理由ガアツテ既設ノ私設鐵道ヲ買收シテ政府デ一ツニ纏メタラ宜シカラウト云フ考カラ政府ハ鐵道買收法案ト云フモノヲ衆議院ニ提出シマシタ、其理由ト云フモノハ鐵道買收法案ノ理由書ニ委シク書イテアリマスカラ委シク述ベマスニ及ビマセヌ、大體右申シタ様ナ次第デアリマスル、之ニ向ツテ衆議院ハ如何ナルコトヲ議決致シマシタカト申シマスルト、第一ノ調査ノコトハ既ニ兩院ノ協贊ヲ經テ居リマスル、第二ノ公債法案ハ大イニ修正ヲ加ヘマシタ、其修正ヲ加ヘマシタモノガ即チ本日議題トナツテ居リマスル鐵道敷設法案デアリマスル、サウシテ買收法案ヲ否決致シマシタ、是レガ鐵道敷設法案ノ生レテ來タ經歷デアリマスル、諸君モ御承知デハアリマセウガ、一應申述ベテ置キマスル、デ此經歷ヲ申述ベマシタ所以ハ今日此鐵道敷設法案ノ趣意ヲ辯明致シマスルニ當ツテ此鐵道敷設法案ハ第一ノ調査ノコトニ於テハ如何ナルコトヲ規定シテ居ル、第二ノ公債ノ法ニ向ツテハ如何ナルコトヲ規定シテ居ル、第三ノ鐵道國有ト云フコトニ向ツテ如何ナルコトヲ規定シテ居ル、夫レヲ比較シテ見ルニ便利ダラウト考ヘマスルニ依ツテ右ノ通り來歴ヲ申述ベタ次第デアリマス、是レヨリ本案ニ就テ説明ヲ致シマスル、本案鐵道敷設法案ハ四章十六條デ成立ツテ居リマスル、其第一章ニ於テ總則ト云フ題號ノ下ニ前申シマシタ鐵道ニ向ツテノ將來ノ大體ノ方針ト云フモノヲ規定致シマシテ、茲ニ此一章ノ主眼ト考ヘマスル所ハ第一條ニアル、將來ニ向ツテノ鐵道ハ政府自ラ敷設ノ任ニ當ルト云フコトヲ第一條デ規定シテ居ル、是レガ第一章ノ主眼デアラウト本員ハ考ヘマス、「政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スル爲メ漸次豫定ノ線路ヲ調査シ及敷設ス」……

〔子爵曾我祐準君「チヨット伺ヒマスガ唯今ノハ原案ノ御話デゴザリマスカ」ト述フ〕

鐵道敷設法案デゴザイマス、

〔子爵曾我祐準君「私共ノニハゴザイマセヌ今言ハレマシタノハ、違ヒマス……宜シウゴザイマス承ハリマシタラバ分リマセウ」ト述フ〕
 是レハ政府ノ考案モ即チ原案鐵道公債法案ノ趣意又鐵道買收法案ノ趣意モ異ツタコトハナインデゴザイマス、唯衆議院デハ此敷設法案ノ方デハ第十四條ニ取除ケテ以テ幾ラカ夫レヲ和ゲテアリマス、ケレドモ大體ノ趣意ハ政府ガ調査シテ政府ガ敷設スルト云フコトニナツテ居ル、是レハ本員ノ贊成スル所デアリマス、前申シマシタ通り今日ノ有様ヲ以テ將來ヲ推スニ迎モ私設會社ノ爲ス所ヲ頼ンデ此鐵道ノ完成ヲ圖ルト云フコトハムツカシイコトト考ヘマスル、既ニ今マデノ線路ハ土地柄ノ善イ處ヲ、俗ニ申セバ撰リ喰ト云フ様ナ工合ニ私設鐵道會社ガ占有シテ居ル、然シテ稍、見ルベキモノノアルト云フノハ誠ニ僅デ、其他ハ起工スル積リデトント起工セナンダト、或ハ半バ起工シテ中止シタリ、又強テ事業ハ繼續シテ竣功ニモ至ツタガ利益ノ思、外少ナイタメニ維持ニ苦シムトカ云フ有様デ、是レカラ先キニ向ツテ私設事業ノ起ルト云フノヲ待ツノハ迎モ爲シ難イコトト本員ハ考ヘマス、兎角マダ日本ノ商工業ハ經驗ガ薄イト云フノデアリマセウカ、ドウモ仕事ガ著實デナイト本員ハ考ヘマス、少シ何カ景氣ガ善イト云フト忽チ夫レガ起ル、少々躓キガアル、僅ノ蹉跌ガアルト直グニ潰レテ仕舞フト云フ有様デアアル、紡績ガ一時ニ四方ニ起ツタ、絲ガ少シ賣レガ惡ルイト忽チ火ノ消エタ様ナ有様デアツテ鐵道モ亦然リ、此例ハ獨リ日本バカリノ話デハナイ他ニモ例ノアルコトデアリマスガ、ドウモ日本ノ人ハ甚シクハナイカト思フ、雷同ガ甚シクハナイカト思フ、生絲ガ宜イトナルト東西南北カラ起ツテ來ル、忽チ又跡ヲ殘サヌ様ニ消エテ仕舞フト云フ様ナ有様ガアル、動モスレバ所謂投機者流ノ所爲ノ様ナ工合ニ見エマスルモノガ往々アルニ依ツテ此大業ヲ著實ニ計畫シテ往カウト云フニハ宜シク政府ガ其任ニ當ルベキモノト本員ハ考ヘマス、デ先刻申述ベマシタ通り衆議院ハ絶對的ニ決シテ國有主義ハ執ツテハ居ラス、第一條ニ斯ノ如ク規定シマシタケレドモ十四條ニ至ツテ又幾ラカノ餘裕ヲ附ケテアリマス、本員ハ全體鐵道國有ノ說ヲ持ツテ居ルモノデアリマスルガ、此處デハ強テ之ヲ極論スルニ及バヌト思ヒマス、即チ是レハ十四條ガ設ケテアリマスカラ唯私ハ御參考マデニ一言申シテ置キタイト思フコトガアル、事ノ序ヲ以テ：夫レハ全體買收ノ方ニ屬スルコトデアリマスルガ、此敷設法案ノ買收ノコトニ至ツテハ手輕イコトデアリマスルカラ此第一條ノ重イ國有主義ト云フノニ稍、重キヲ置イテ居ル所ヲ一言加ヘテ置キタイコトハ、世ノ中デ國有ニ反對スル人ガ能ク英吉利ノ例ヲ取ツテ云フニハ鐵道ノ本家タル英吉利ノ例ヲ取ツテ現ニ英吉利デハ民設鐵道ノミデハナイカ、國有鐵道ナドト云フガ學者ノ机上

ノ論ニ止マルト云フテ此國有主義ヲ排撃スル一ツノ武器トシテ居ル、此國有論者ト云フモノハ輒ク中、實際ニ行ハレルモノデハナイト云フ論ナラ宜シイケレドモ、國有論ハイカスト云フ例ニハ本員ハナラヌト考ヘルノデアリマス、本員ノ考デハ此例ハ中、世ノ中ニ勢力ガアルニ依テ一言申サナケレバナラス、ナゼ是レヲ以テ國有論ヲ排撃スルニ足ラヌ論ダト云フノハ本員ノ見ル所デハ實際出來ナイカラ英吉利ノ國有論ガ成立タヌノデアアル、其出來ナイト云フ事實ハ理論ノ善惡ニ拘ラズ事實デ出來ナイダラウト思フ、英吉利デハ千八百四十四年デスカ、千八百四十四年前ニ許シタ鐵道ニハ買収ノコトハ少シモ規定シテナイ、其線路ハ中、大會社ガ占メテ居ル、其線路ノ長サガ二千何百哩デ是レハモウ全ク協議買収フヨリ外ニ致シ方ガナイ、其後鐵道買収ノコトハ規定シテアル、デ夫レガタメ第一ニ經濟上ノ困難ガ生ジテ居ル、ザット積ッテ見テモ今日ノ所デ英吉利ノ鐵道ヲ買収シヤウト思ッタナラバ恐ラク六億萬ばうんぶヲ越エルトモ以下デハアルマイカト考ヘル、即チ近來ノ相場デ四十億圓バカリニナリマスカナ、日本ノ鐵道ヲ殘ラズ買収シヤウトシタ所カ五千萬圓カソコラ買収フコトガ出來ル、ザット八十倍カラノ金デアアル、勿論英吉利ハ富ンデ居ル、夫レデ英吉利ハ富強ナルコトハ最早疑フニハ及バヌコトデアアルガ、四十億ノ公債ヲ今起スト云フタラ少シハ考ヘナケレバナラス、夫レデ第二ニムヅカシイコトガアル、夫レハドウカト云フト此私設鐵道ガ大キクナルト中、強イモノデアアル、夫レデ種々様々ノ所デ勢力ヲ得テ居ル、苟クモ其會社ニ不利ト思ッタ所ヲ買収シヤウト思ッタ時ニハ十分ノ武器ガ整ッテ居ル、：大キクナルト、デ實際公衆ノ利益ハドウ有ラウトモ其大キナ會社ガ夫レガタメニ不利ニナッタナラバ隨分ノ遺ラセマイト思ヘバ出來ル、夫レハ英吉利バカリデハナイ、鐵道ニ關係スル會社バカリデハナイ、他ニ本員等ハ幾ラモ其例ヲ聞イテ居ルコトガアリマス、一ツデハ經濟ノ困難、一ツデハ會社ニ非常ノ勢力ガアル、此二ツガ有ッタナラハ中、容易ニ出來マイト思フ、實際言フベクシテ行フベカラザル次第ダト云フテモ宜シイ、ケレドモ之ヲ以テ國有主義ハ間違ッテ居ルト云フ理論ヲ攻撃スル武器トシテ居ルノハ本員ノ考ヘル所デハ間違ッテ居ルト思フ、……

〔藤村紫朗君「古市君ノ御述ベノコトハ御意見ノ様ニ聽キ取リマシガ、トウゾ御意見ナラバ會議ノ時ニ精シク承リタイ、唯今ハ御報告デゴザリマセウカラ委員ノ御見込丈ヲ速ニ御報告ヲ願ヒタイト思ヒマス」ト述フ〕

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今發言中デアリマス、

○古市公威君 唯今申シタ所ハチット御注意ノ通リカモ知レマセヌ、畢竟第一條ハ政府ガ自ら敷設ノ任ニ當ルト云フコトヲ規定シテ居ル、委員ハ之ヲ

可ト認メタ、其可ト認メタコトヲ敷衍スル積リデアッタシテスガ小シ論題外ニ涉ツタカモ知レマセヌカラ止メマス、尤モ他ニ言フコトモナイ、夫レカラ次ニ第二條ニ豫定線ト云フモノヲ掲ゲテアリマス、此線路ノ長サガ凡ソ三千二百哩バカリニナル趣デアリマス、政府ノ當初見込ミマシタノガ矢張り此位デ、是レヨリ少シ多クナッテ居ル、此線路ハ或ハ軍用上ノ必要ガアルトカ、或ハ經濟上或ル地方ノ物産ヲ開クタメトカ云フ目的デ陸軍當局者ノ意見モ聞キ又鐵道廳ノ意見等モ聞キ其地方ノ人ノ意見モ聞イテ定メタモノデアアルサウデゴザリマス、デ本員等委員ニ於テハ地圖ニ就テ之ヲ見マスルノニ先ヅ本員等ノ見ル所デハ日本ノ鐵道ハ尠クモ此位有ッテモ宜カラウト云フ考ヲ持チマシタ、尤モ是レハ確トシテ動カナイモノト云フノデハ勿論ナイ、即チ之ヲ調査スルニハ全國鐵道調査費ト云フモノガアリマス、是レカラ著手スルニ唯調査ニ著手スルト云フテ唯茫漠トシテ東西南北ニ奔走シテ見ルバカリデハナラスノニ依ッテ此所ニ大體ヲ規定シテアリマス、是レハ此線路ヲ入レタ地圖ガアリマスルガ夫レニ付テ御覽ナサルト、未ダ網ノ目ガ細カイト云フヨリハ寧ロ粗イト云フ方ダラウト思ヒマス、併シ其配置ノ工合ナドハ唯達觀上敢テ不都合ハナイモノト考ヘマス、尤モ今申ス通り是レハ大體ノ方針ヲ定メタバカリデ是レカラ調査ヲスルモノデアリマスカラ將來ニ於テ多少ノ變更増減等ヲ生ズルハ免レヌコトデアリマス、即チ此法案ニモ其事ハ豫期シテアルノデアリマス、スレバ此一線毎ニ即チ總計三十三線程アリマス、其内ニ比較線ト唱ヘマスルモノガ有リマス、東西ノ……甲ヨリ乙ニ達スル……甲ヨリ乙ヲ經テ丙ニ達スルカ、或ハ甲ヨリ丙ヲ經テ丁ニ達スルカト云フ様ナ比較線ト唱ヘテ數條ヲ同時ニ掲ゲテアッテ此内ノ一ツト云フ工合ニ規定シテアルノモアリマス、又隨分廣ク唯發著ノ線バカリヲ定メテ何處ヘ行クカ分ラヌ程ニナッテ居ルモアル、勿論調査ヲシテ取極メルコトデアリマスルガ、今日一々線路ノコトハ其可否ヲ論ズルノ必要ハナイト思ヒマス、是レハ唯大體ニ付テ日本ニハ此位ノ鐵道ガアッテ宜シカラウ、其線路ハ斯ノ如ク配ッテアレバ宜シカラウト云フ見込ガ立ッテ居レバ本員ハ宜シイト思ヒマス、此三千何百哩ニ付テ餘リ多キニ過ギル様ナコトガアリハシナイカト云フニ、本員ハ先刻寧ロ網ノ目ガ未ダ粗キニ過ギル程デアアルト申シマシタ、是レハモウ各自ノ見ル所デ細カク線路ヲ極メテ參ラネバ分リマセヌガ唯チヨット比較ニ御參考マデニ申シテ置イテ宜シイト思フコトハ是レデ日本ハ伊太利ニ似テ居ルト申シマスルガ面積人口ナドノ比例カラ伊太利今日ノ有様ヨリハ未ダズット少ナイノミナラズ殘ラズ出來上ッテ未ダ内輪ニナッテ居ルト思ヒマス、今日ノ有様、而シテ此三十三線路ガ先ヅ出來ルカ出來ヌカ未ダ今日カラハ豫想シ能ハヌ位ノコトデアリマス、多キニ過グルヨリハ寧ロ少ナキニ失シテ居ルコトデ

ハナカラウカト考ヘマス、其餘三條カラ六條マデハ唯政府ガ之ヲ施行スル、即チ夫レガタメニ費用ガ要ル、公債ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ規定シタルバカリデアリマスカラ、是レハ別ニハ細カキ説明ヲ要セヌコトト思ヒマス、第二章ノ第一期鐵道及公債募集、是レハ中々ノ問題デアラウト思ヒマス、是レガ即チ政府提出ノ公債法案デゴザリマス、即チ政府提出ノ公債法案ト云フモノガ詰マリ第二章デ夫レニ大體ノ方針ヲ定ムルト云フ、全國鐵道調査費ガ法文ノ様ニナツテ此第一章ニ現ハレテ居ル、此第一期線、政府ハ公債法案ニハ六線ヲ提出致シマシタ、其六線凡ソ八百哩、然ルニ衆議院デ夫レヲ修正致シマシテ九線ニ致シマシタ、九線ト云フノハ一打チニナツテ居ル所デ九線デアリマスガ、實ハ廣島縣下海田市ヨリ吳ニ至ル線、熊本カラ三角ニ至ル線ナドヲ連絡シテ居ルノデ之ヲ十一線ト云フテ宜シイノデゴザリマス、夫レハ如何ナルモノヲ加ヘタカト申シマスト政府案デハ八王子ト甲府トヲ第一著ニ於テ接續スルバカリデアアル、デ夫レヲ衆議院デハ八王子ト甲府トヲ接續スルノミナラズ比較線トシテ御殿場カラ這入ツテ甲府ニ往ク線ヲ比較線トシテ之ニ加ヘテアリマス、其中細ク調査ヲシテ見テ其中ノ一ヲ取ツテ宜シイノデアリマス、本員ハ此二ツノ線ノ中ニ就テハ大抵片方ニモ意見ハ極ツテアリマスケレドモ、併ナガラ調査ヲシテ見テ比較シテ利害ヲ比較シテ其中デ極メルト云フコトデアリマスカラ是レハ置イテ決シテ差支ナイト考ヘマス、夫レカラ其行先ガ政府案デハ甲府テ止ツテ居ッタ分ガ之ヲ名古屋マデ延バシテアル、是レハ未ダ調査ガ十分ニ行届カヌカラ政府案ハ甲府ニ止メテ居ル、調査ガ十分行届カヌト云フノハ即チ伊那ヲ往クカ木曾街道ヲ往クカト云フノデアリマス、デ此二方ヲ比較線トシテ茲ニ掲ゲテ提出シテアル、詰マリ東京カラ名古屋ヘ此山ノ手ヲ通ツテ名古屋ヘ接續スルコトヲ第一期ニ施行スル見込デアリマス、至極是レハ宜シイト考ヘマス、折角甲府マデ往ッタモノナレバ之ヲ名古屋ヘ接續スルコトハ甲府名古屋ヲ第二期ニ廻ハスハ如何ニモ惜イコトデアアル、此接續ヲ見タナラバ餘程甲信ノ物産ヲ開ク道ノ助ケニ十分ニナラウト思ヒマス、軍用ニ於テハ聞ク所ニ據レバ餘程必要ナ線路デアアルサウデアリマスカラ之ヲ加ヘタノハ至極宜シイト考ヘマス、夫レカラ敦賀富山線是レハ前カラアル線デ、即チ加越ノ豐饒ナル物産ヲ開クタメニ或ハ線路ノ模様ニ依ツテハ軍用ニ適セヌコトハナイサウデゴザリマス、是レモ必要ナ線、既ニ是レハ敷設ヲ請願シテ敷設ヲ願出テサウシテ遂ニ途中デ中折レテ仕舞フタ線路デアリマス、必要ハトウカラ分テ居ル分デアリマス、夫レカラ次ニ福島青森出羽ノ方ニ出テ青森米澤山形是レハ修正モ原案モ同意見デ奥羽線路ト即チ日本鐵道會社ノ線ト相須ツテ效用ノアルモノデ、且ツ出羽ノ物産ヲ開ク必要ト軍用ニ於テモ又此日本鐵道線ノ一部分ノ危險ナル所ヲ避クル爲メニハ大イニ之ガ用ヲナス、夫レ

カラ山陽線ノ三原馬關、是レハ其軍用上何分青森カラ馬關マデハ第一著ニ縱貫線ヲ設ケナケレハナラヌト云フ所カラ必要デアラウト思ヒマス、是レハ御承知ノ通り山陽鐵道會社ガ既ニ許可ヲ受ケテ居リマシタガ躊躇シテ工事ヲセズニアルト云フ有様デゴザイマス、デ此事ニ付テハ山陽鐵道會社ニ關係モアリマスルガ夫レハ次ニ規定シテアリマス、夫レニ一線ヲ衆議院デ加ヘテ吳ノ線ヲ加ヘマシタ、軍用上是レモ必要デアリマス、尤モ是レハ僅ナ支線デアリマスカラ、夫レカラ九州線ニ向ツテ原案ハ佐世保ヲ連絡スルバカリデアツヌガ長崎、熊本カラ三角ト云フモノヲ加ヘテ居リマス、長崎ハ五港ノ一デ外國ニ對シテハ隨分必要ノ港デアアル、一葦水ヲ隔テテ支那上海マデ僅カ一晝夜餘リヲ往ク所デアリマスカラ、是レハ鐵道ヲ設ケテ置クコトハ實ニ第一期ノ工事に見テ然ルベキモノト思ヒマス、夫レカラ三角モアノ灣ハ小サクハアルガ良イ港デ即チ肥後ノ物産又三池ノ炭ナドヲ出シマスルニハ至極便利ナ所デアリマス、是レモ熊本カラ三角マデハ僅ノ距離、工事ハ困難デナクツテ而シテ肥後ノ物産ヲ輸出スルタメニハ餘程ノ便利ヲ與ヘルト思ヒマス、之ヲ加フルハ至極結構ト思ヒマス、此外ニドバイ原案ニナカッタモノヲ三線加ヘタ、一ハ舞鶴、夫レカラ一ハ和歌山ニ達スル線、一ハ山陰山陽ヲ連絡線、孰レモ委員ハ宜シイト認メマシタ、舞鶴ハ軍港ト定ツテ居ル所デ是レハ鐵道ガチットモナイト云フノハドウモ遺憾デアリマシタガ此ニ即チ加ヘルハ本員ナドハ中ニ贊成ヲ致シマス、夫レカラ次ニ和歌山、是レハ紀淡ノ海峽ノ防禦ニ必要ガゴザイマスガ夫レバカリデナクシテ吉野川ノ谷ニモ中ニ、吉野川即チ紀ノ川ノ谷ハ中ニ豐饒ノ地デアアル、之ヲ開クハ大イニ効用ガアラウト思ヒマス、最後ニ山陰山陽連絡線、舞鶴ガ此ニ這入ツテ居リマスガ是レハ山陰ト申シテモ僅カ一部分デ山陰道ハ丸デ鐵道カラ見放サレテ居ル有様デアリマスカラ、山陰山陽ノ間ニ一方ノ連絡線ヲ第一期ニ設ケルハ洵ニ相當ノコトデアラウト思ヒマス、夫レデ此第七條ノ線路ニ對シテハ異議ハアリマセヌ其通リデ宜シイ、爰ニ此其問題ノ起リマスノハ此第一期ニ是レ丈ケノモノヲ設ケルハ宜シイガ經濟ノ方カラ如何デアラウカト云フコトガアリマス、第一期ノ工事を施行スルニ毎年六千万圓ノ公債ヲ募ル、十二年間ト云フコトガ規定シテアル、第一六千万圓ノ公債ヲ安リニサウ募ツテ宜イカドウカ、是レハ當局大臣ノ意見モアリマシタガ少シモ差支ナイト云フコトデアリマス、デマー種々其差支ナイ理由モアリマセウガ本員ナドノ見マスル所デモ十一年ニ公債償還ノ途ガ立ツテアリマスカラ先ツ近來ニ致セバ毎年四百萬圓以上公債ヲ返セル、即チ夫レカラ四百萬圓乃至五百萬圓ノ公債ヲ此處ニ募ツタ所ガ經濟上ニ著シキ變動ヲ起サウトハ思ヒマセヌ、夫レカラ十九年ニ整理公債デ高利ノ公債ヲ段々低利ニ直シテ夫レガタメ十九年カラ本年マデニ至リ利ヲ減ジマシタノハ凡五百五十万

圓百四十九万何圓ト云フ一年ノ高ニナツテ居リマス、中々豊カナコトデアリマス、其他現在ノ通貨ガ何程アリ日本銀行ニ何程ノ金ガ寢テ居ルト云フコトガアリマスガ、是レハ他ニ細カク之ヲ述ブル人モアリマセウカラシテ本員ハ言ヒマセヌガ、要スルニ此公債ヲ發布シタタメニ經濟ヲ紊亂スルデアラウカト云フコトハ決シテ左様ナコトハナイ、ナイノミナラズ却ツテ此經濟社會ニ活潑ノ運動ヲ與ヘテ不景氣恢復ノ一策ニモナルダラウト本員ハ信ヨマス、夫レハ宜シイ……併シ鐵道ヲ敷設スルト大變ニ外國品ヲ入レニヤナラヌ夫レハドウデアアル、成程外國品ヲ買ハニヤナラヌニ相違ナイガ先ツ夫レガ此計畫ノタメニ今マデヨリ著シク殖エルカト云フト殖エナイ寧ロ減ル位デ、明治二十一年以來二十四年マデ毎年此鐵道ノ出來テ往クコトハ二百哩以上出來テ居ル、二十四年ナドハ開業シタモノガ三百五十二哩何ボト云フモノガ開業シテ居ル、二十一年ヨリ二十四年ノ平均ト云フモノハ一年二百七十九哩ノ鐵道ガ殖エテ居ル、此第一期線ト云フモノハ何程アルカト云フト千二百哩程デアアルカラ之ヲ十二年ニ開ケバ一年百二十哩程ニナル、今日マデノ有様ヨリスツト押シテ往ケバ……イヤ夫レデモモウドガイ外國へ出サヌ方宜イ、斯ウ云フ極ク消極論ヲスル人ハ格別、夫レデナケレバ是レガタメニ少シモ驚クニハ及バヌ、併シ金ニ積ツタラバ如何ノモノデアアルカト申シマス、當局者ノ見込ヲ聞キマスニ凡ソ一哩ニ付テ一万三千乃至一万五千ノ金ガ外國へ出ルダラウト思フテ此計算ハ千二百哩ニ付キ工費六千万圓ノ計算デアリマスカラ之ヲ平均シテ一哩五万圓ノ割ニナツテ居リマス、其一哩五万圓ノ工費ニ向ツテ外國へ出ルモノハ一万三千乃至一万五千ノ金ガ出ル、夫レカラ又絕對ノニ外國へハ一文モ金ヲ出スコトハイヤダト云フコトヲ云フ以上ハ斯ウ云フコトヲサセナイデモ宜シイガ、成程外國へ幾ラカ金ガ出ル夫レガタメニ日本ノ物産モ幾ラカ出ル道ガアルカラ、之ヲ丸デ握ツタモノハチットモ出サヌト云フ主義デナイ以上ハ、決シテ驚クニ及バヌコトデアラウト考ヘマス、今申ス通りノ次第デアリマスカラ寧ロ此法案ハ内輪ニ今日マデノ實際ノ有様ニ比スレバ稍、内輪ニ著實ニ計畫シテアル、尤モ夫レニ幾ラカノ餘裕ヲ與ヘルタメニ第七條ニ「以上線路ノ外ニ尙ホ敷設ノ急ヲ要スヘシト認ムルモノアルトキハ云々」ト將來ニ向ツテ幾ラカノ運動ノ自由ヲ與ヘテアリマスカラ茲ニ規定シテアル所ハ今日マデノ實際ノ有様ヨリハ稍、著實ニ内輪ニ計畫シテアルモノト認メマス、次ニ三章此三章ハ私設鐵道ノ處分政府案ノ買収法案ハ全ク絕對ノニ國有主義ヲ取ツテ提出致シマシタ、此修正ニ依リマス、此公債法案修正ノ即チ此敷設法案ノ規定ニ依リマス、何モ今日ニアツテ此ムツカシイ隨分喧マシイ問題ヲ一刀兩斷ニ極メテ仕舞フニハ及バヌ、畢竟目的ハ何レニアラカト云ヘバ鐵道ヲ擴張シテ殖産興業ノ道ヲ開カウト云フニアルデハナイカ、果シテ其目的

ニ背ク様ナ私設鐵道デアッタナラバ……即チ其目的ニ妨害ヲ與フル様ナモノガアツタナラバ之ヲ買収スルガ宜イト云フ主義カラ必要ガアレバ買収スルト云フ方針ヲ取ツテ此三章ト云フモノヲ設ケテアリマス、又決シテ其主義ニ片寄ラヌト云フ所デ同ジク私設鐵道ノコトデアリマスカラ此十四條ノ規定ヲシテ將來モ政府デ直ニ敷設スルト云フ見込ガナクテサウシテ別段ニ不都合ノナイ私設鐵道會社ノ起リサウナラバ夫レヲ許スコトモアル、誠ニ將來ニ向ツテ運動ノ自由ヲ妨ゲナイ様ニ致シテアリマスノデ本員モ此考ニ贊成致シマス、夫レカラ第四章ノ鐵道會議是レハ粗ボ政府デモ計畫ガナイノデハナイ、又議員ノ希望モ議場ニ向ツテ明ニ述ベテアリマスガ、詰マリ勅令ヲ以テ……其組織ハ勅令ヲ以テ定ムルモノノデスカラマダ極ツタモノデハ勿論アリマセヌガ、先ヅ當路ノ官省即チ内務、大藏、農商務、遞信、夫レカラ陸海軍參謀本部、鐵道廳、日本銀行總裁トカ其他民間ノ運輸營業都テ商工業ノコトニ經歷ノアル人ナドヲ以テ會議ヲスル、サウシテ將來何分大キナ計畫デアアルカラ此仕事ハ將來成ル丈ケ鄭重ニシヤウ、サウシテ機敏ノ働キノ出來ル様ニシヤウ、斯ウ云フ目的カラ會議ヲ設ケテ鐵道工事著手ノ順序ト公債募集ノ手順ト是レ丈ケヲ規定サセルコトニ茲ニ制定シテアリマス、事ヲ鄭重ニシテサウシテ機敏ニ事ヲ處スル様ナ工合ニ之ヲ設ケタノハ至極宜シイト考ヘマス、以上述ブル所ヲ摘要致シマスルト、詰マリ政府案ニ對シテ此法案ハ餘程將來ノ運動ニ幾ラカノ餘裕ヲ與フル様ニシタ至極穩當ノ法案ト考ヘマス、右ノ理由ヲ以テ委員會ハ之ヲ可決スベキモノト議定致シマシタ次第デゴザリマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 内閣總理大臣、
○子爵鳥尾小彌太君 委員ニ向ツテ質問致シマス、
○議長(侯爵蜂須賀茂詔君) 暫ク御見合せ下サイ、
(國務大臣伯爵松方正義君演壇ニ登ル)
○國務大臣伯爵松方正義君 諸君、鐵道ハ諸君御承知ノ通り國ノ富強ヲ増進スル一大要具デアリマシテ經濟上ニモ國防上ニモ重要ノ關係ヲ持チ公共ノ利害ニ影響スルコト極メテ大ナルモノデアアル、故ニ鐵道ハ尋常一般ノ事業ト同様デナイト云フコトハ本大臣ガ特ニ陳述スルヲ要セヌコトト思ヒマス、政府ハ大イニ我邦鐵道ノ延長及其完成ヲ圖ルノ計畫ヲ定メマシテ鐵道公債法案及私設鐵道買収法案ヲ議會ニ提出致シマシタガ諸君御承知ノ如ク衆議院ニ於キマシテ公債法案ヲ鐵道敷設法案ト修正シ私設鐵道買収ノコトヲバ其中ニ組入レテ私設鐵道買収法案ハ否決トナリマシタ、衆議院ノ修正案ニ據リマスレバ實際政府ノ目的ハ大抵貫徹シ得ラレマスカラ政府ハ此修正案ニ同意ヲ致シマス、願ハツハ諸君御贊成アツテ速ニ可決セラレムコトヲ望ミマス、或ハ斯

上奏案起草特別委員長細川潤次郎

貴族院議長侯爵蜂須賀賀茂詔君

誠恐誠惶貴族院ノ決議ヲ以テ恭ク

本院ハ政府ヨリ提出シ衆議院ヨリ送付シタル明治二十五年年度歳入歳出總豫

算追加案ヲ議スルニ當リ衆議院ノ削除シタル海軍省所管第一款軍艦製造費

及文部省所管第二款震災豫防調査會設備費ノ兩款ヲ急要ノ歳出ナリト認

メ憲法ニ依リテ與ヘラレタル協贊ノ權ニ依リ政府ノ原案ニ基キ衆議院ノ修

正案ヲ修正シ議院法第五十五條ニ依リ衆議院ニ移シテ抑豫算案ハ前ニ衆

議院ニ提出セラル、ノ外憲法上豫算ニ對スル協贊ノ職權ニ於テ兩院ノ間ニ

輕重スル所ナキヲ信シ又此職權ニ依テ修正ヲ行フニ當リ政府ノ提出セル原

案ノ款項ヲ復スルニ付テハ法律上何等ノ制限ナキヲ信ス是ヲ以テ本院ハ憲

法ノ命スル職務ヲ盡シ且議院法ノ手續ヲ履ミ以テ衆議院ノ同意ヲ求メタリ

然ルニ衆議院ハ更ニ之ヲ挿入シタルハ不合法ノ議決ナルヲ以テ回付ヲ受ク

ヘキモノニアラストシテ返付セリ本院ニ於テハ本院ノ議決ヲ合法ノモノト

確信スルヲ以テ更ラニ之ヲ衆議院ニ回付シタルニ衆議院ヨリ再應返付シ兩

院ノ所見遂ニ相合フ能ハサルニ至レリ今憲法上ノ疑義ニ關シ兩院ノ所見互

ニ相合ハス從テ憲法ノ進行ヲ現在及將來ニ妨クルノ懼アルニ於テ本院ハ謹

テ狀ヲ具ヘ上奏シ仰テ

聖明ノ親裁ヲ待ツアルノミ 恐懼ノ至ニ堪ヘス謹テ上奏ス

明治二十五年六月十一日

○子爵鳥尾小彌太君 是レハ本院ニ於テ三十人ノ贊成ヲ要スルコトト思ヒ

マスカラ即チ議場ニ於テ贊成ノ成立タムコトヲ……唯今意見ヲ述ベテ置キマ

スカラドウゾ……

○議長(侯爵蜂須賀賀茂詔君) 暫ク御待チ下サイ、宜シク取調ベテ御答ヲシ

マス、

(山口尚芳君發言ヲ求ム)

○議長(侯爵蜂須賀賀茂詔君) 唯今ノ鳥尾子爵ノ御疑ニ付テ御答ヲ致シマス

ルガ、是レハ議院法ノ五十二條ニ「各議院ニ於テ上奏又ハ建議ノ動議ハ三十

人以上ノ贊成者アルニ非サレハ議題ト爲スコトヲ得ス」ト云フコトガアルノ

デゴザリマス、然ルニ今朝上奏スベシ隨ツテ上奏案ノ起草委員ヲ設クベシ委

員ノ數ハ云々ト云フ即チ三浦君ノ動議ガ出マシテ夫レニ贊成者ガ三十人以上

アツタノデゴザリマス、夫レレ動議ガ成立ツテ居ルノデゴザリマス、依ツテ上

奏案ノ起草委員ト云フモノガ出來マシテ其委員ニ付シテ所謂報告ニナツタト

云フ手續デゴザリマスニ依ツテ上奏スベシト云フコトハ今朝已ニ決シテ居ル

様ナル大事業ヲ起シ巨額ノ公債ヲ募集スルトスルキハ財政上多少ノ御懸念

ガアルカモ知レヌガ決シテ左様ノコトハゴザイマセヌ、政府ハ十數年來年々

少クトモ二千萬圓餘ヲ公債元利ノ支拂ニ充ツルノ方針ヲ取リ其以來決シテ變

更ハ致シマセヌ、故ニ新公債ヲ募集シテモ舊公債ハ次第ニ減少スル筈デゴザ

イマス、殊ニ此鐵道ハ生産的ノ事業デ其收入ハ即チ一大財源トナリマスカラ

此事業ノタメニ公債ヲ起シタ所ガ財政ノ安全ヲ害スルコトハ決シテナイコト

ト信ジマス、

○議長(侯爵蜂須賀賀茂詔君) 一應休憩致シマス、

午後零時十六分休憩

午後一時四十五分開議

○議長(侯爵蜂須賀賀茂詔君) 上奏案起草委員會ニ於キマシテ當選ニナリマ

シタル委員長ハ細川潤次郎君副委員長ハ子爵谷干城君デゴザリマス、次ニ今

朝以來ノ鐵道敷設法案ノ議事ヲ引續クベキデゴザリマスガ、上奏案起草委員

ニ於キマシテ既ニ起草ガ整ヒマシテ手續マデ報告ニナリマシテゴザリマス、

依ツテ是レハ緊急ノ重大ナル事件デモゴザリマスニ依ツテ鐵道敷設法案ハ一應

議事ヲ中止シマシテ……法案ノ會議ハ暫時中止致シマシテ、先キニ上奏案ノ

コトノ決議ニ及ボサウカト存ジマスルノデゴザリマス、然ル處是レハ本院規

則ノ第五十九條ニ「議事日程ニ其議案ノ會議時刻ヲ定メタル場合ニ於テ其ノ

時刻ニ至リタルトキハ議長ハ會議中ノ議事ヲ中止シテ時刻ヲ定メタル事件ノ

會議ニ移ルヘシ」ト云フコトガゴザリマスガ、併シ少シ場合ガ違ヒマスノデ

今朝ハ報告ノ時刻ヲ定メタ譯デゴザリマシテ、會議ノ時刻ヲ定メタ場合トハ

少シク違ヒマスノデゴザリマス、依ツテ是レハ矢張り議事日程變更ニ相成ル

ベキモノト認メマス、是レヲ表決ニ付シマシテ併セテ政府ノ同意ヲ得ナケレ

バナラスノデゴザイマス、此上奏案ヲ議ニ付スルタメ議事日程ヲ變更スベシ

トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者 多數

過半数デゴザリマス、依ツテ議事日程ハ變更

ニ相成リマシテゴザリマス、

○議長(侯爵蜂須賀賀茂詔君) 直ニ政府ハ同意ヲ與ヘマシテゴザリマス、依

テ議事日程ハ變更ニ相成リマシテ是レヨリ直ニ上奏案ノ議事ニ取掛リマス、

然ラバ特別委員長ヨリ差出シマシタ報告書及上奏案ヲ朗讀ヲ致サセマス、

(金子書記官長朗讀)

上奏案別冊ノ如ク起草ス依テ及報告候也

明治二十五年六月十一日

モノト存ジマス、

○子爵鳥尾小彌太君 成程上奏スベシト云フコトハ今朝決シテ居リマスガ即チ上奏案ハ議案デゴザリマス、此議案ヲ議題トシテ議スルニハ三十人以上ノ賛成者ガナケレバ議題トハナリマセヌ、此上奏案ヲ是レカラ議サナケレバナラヌ、左スレバ此委員カラ提出シタ所ノ上奏案ニ三十人ノ賛成者ガアツテ始メテ議題トナツテ此上奏案ヲ議スルト云フコトニナルノデ、上奏スベシト云フコト丈ケハ最前ノ會議ニ於テ極ツテ居リマスガ上奏案ハマダ議題トナツテハ居ラス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 夫レナラバ鳥尾子爵ニ御尋ネシマスガ……

○子爵鳥尾小彌太君 本員ハ委員ノ議案ニ賛成ヲ表シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 今朝委員ニ付スルト云フ動議ガアリマシテ其動議ガ成立ツテ、即チ委員ニ付スルト云フノハ議題トスルタメニ委員ト云フモノヲ設ケテ其委員ニ付託シテ起草セシメタモノデアリマスカラ、然ル以上ハ最早成立ツテ居ルノデゴザリマシテ上奏案ト云フモノニ付イテハ別段ニ三十人以上ノ賛成者ガ入ル譯デハナイト認メマス、

○子爵鳥尾小彌太君 上奏スルト云フコトハ議決ニナツテ居リマスガ委員ニ於テ上奏案ニ具ヘテアル理由ト云フモノニ付テ之ヲ議題トシテ議スベキヤ否ヤト云フコトハ極ツテ居リマセヌ、是レハドコマデモ議長ノ御間違デアツテ必ズ此案ハ賛成者三十人ナクテハ即チ其上奏案ヲ議題トシテ議スルト云フコトニハナリマセヌ、若シ之ヲ議長ノ仰シタル様ニスレバ即チ議院法ノ五十何條ト云フモノヲ犯ス様ニナリマス、ドウゾ諸君續々賛成ナスツテ宜シイト思ヒマス、

〔三浦安君侯爵醍醐忠順君並ニ發言ヲ求ム〕

○山口尙芳君 鳥尾子爵ノ御發言ハ誠ニ不都合ナコトト思ヒマスカラ斷然御差止メニナツテ然ルベキコトト思ヒマス、議長ノ御宣告ノ通りニ今朝ノ始ニ當ツテ特別委員ヲ設ケラレタノハ上奏案ヲ拵ヘルタメノ委員デアリマス、其上奏案ヲ斯ノ如ク起草ラシタト云フモノガ唯今ノ朗讀ニナリマシタモノデゴザリマスカラ、其朗讀ニ對シテ御異議ガアレバ御討論ニナツテ然ルベキコトデアル、既ニ滿場一致トモ云フベキ多數ヲ以テ上奏案ヲ拵ヘルト云フコトハ委員ニ委任セラレタノデアアル、夫レデ其報告ニ對シテ三十人ノ賛成ガナケレバイカナイ、那ノタメデ此議事日程ヲ變更ニナツタト申シマスルト即チ委員ヨリ報告ニナツタ此上奏案ヲ起草スルタメニ今朝變更ニナツタモノデ問題ナシニ何ノタメニ此議事日程ガ變更スルコトガ出來マセウカ、夫レ故ニドウカ右ノ如キコトハ議長ニ於テ御止メニナリマシテ駿速ニ議了アラムコトヲ希望シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 尙ホ此事ニ付テハ今一應申シテ置キマスガ、

既ニ開院ノ節勅語ニ對シテノ奉答案ニ致シテモ即チ上奏案デゴザリマスガ奉答スベシト決シマシタ以上奉答案ハ如何スベシト云フコトニナツタトキニ議長ニ委託スベシト云フコトニナリマシテ議長ガ起草ヲ致シテ滿場ニ問フト云フ其節ニモ決シテ唯今ノ鳥尾子爵ノ申サル、様ナコトハナイ、斯ウ云フ慣例モゴザリマスカラ是レハ明ナルコトト存ジマス、

○細川潤次郎君 簡單ナル報告ヲ致シタウゴザイマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザリマス、細川君、

〔細川潤次郎君演壇ニ登ル〕

○細川潤次郎君 至ツテ簡單ナル報告ヲ致シマスルガ、其中唯今書記官長ニ於テ朗讀ヲ致サレマシタ通りノ上奏案ヲ我々九名ノ委員ガ委員室ニ寄集リマシテ相談ノ上段々討論、潤飾ヲ加ヘマシテ斯ノ如キ案ニ歸著致シマシタ、依ツテ其旨ヲ議長ニ報告ニ及ビマシテゴザリス、是レハ先刻三浦君ノ發言ニ依リマシテ上奏スルコトニ決シマシテ隨ツテ上奏案ト云フモノヲ起草セシバナラヌト云フコトニナリマシタデ、然カモ誠ニ時期切迫ヲ致シテ居リマスルニ付キマシテ本日ノ午後二時ト云フモノヲ期限ト致シテ此議場ニ報告ヲ致ス様ニト云フコトデゴザリスカラ、即チ我々ニ於キマシテモ十分ニ勉勵ヲ致シテ取調ヲ致シマシタ積リデゴザリスガ、何分時間ニ限リモゴザリスルコトデゴザリスカラ、或ハ文字上ニ於テモ十分穩當ナラザル所ノ音嫌ヒナキニシモアラザルカト存ジマスルガ、先ヅ此時間ノ短時期ナルニ對シマシテハ左程ノ不都合ノコトハナイデアラウカト認メマシテ議長ノ手許マデ其案ヲ提出致シマシタル所以ノモノデゴザリスル、且ツ又ドウカ致シテ速ニ印刷スル所ノ方法ガアリマスレバ印刷ヲ致シテ諸君ノ御手許ニ差出シタイノハ萬々希望致シマスル所ノ點デゴザリスルガ、是レ亦御案内ノ通り一體此會期ガ最早切迫ヲ致シテ居リマスルカラ愈々上奏ト是レガ決シマシタル以上ハ速ニ其手續ニ連バナケレバナリマセヌコトデゴザリスルカラ、誠ニ玆ニ至ツテ瞬速ノ時間ヲ争ヒマスル次第デゴザリスル故ニ已ムコトヲ得ズ印刷物ヲ諸君ノ御手許ニ差上ゲルコトノ間ニ合ヒマセヌコトハ萬々御諒察アリタウゴザリス、併シ唯一讀ノコトデハ十分ニ其意味ノアル所ヲ御了解ニ相成ルコトハ頗ル難イコトデゴザリスルカラ或ハ數回ノ朗讀ヲ致シテ御聽キニ達シマスルコトモ一ノ便法デアラウカト存ジマス、又其上ニ御意見モアルコトナレバ如何様ニ修正ヲサレテモ宜シイト思ヒマス、右ノ次第ヲ一應御報道ニ及ビマス、

○渡正元君 此上奏案ハ切迫ノ事情モアルニ依ツテ其案文ヲ各議員ニ配付サレル暇ガアリマセヌコトト考ヘマスル、就テハ各議員ノ考案ノタメニ今一應更ニ朗讀ニナラムコトヲ希望致シマス、

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザリマス、今一應朗讀ヲ致サセマス、

〔村田保君〕ドウゾソロソロ願ヒマス〔ト述フ〕

〔金子書記官長再々上奏案ヲ朗讀ス〕

○渡正元君 委員會報告ノ起草案ノ通りデ宜シイト考ヘマスルノデ賛成致シマス、

○侯爵醍醐忠順君 本員モ唯今ノ委員ノ起草デ至極ク條理立ッテ明瞭ナリト存ジマス、速ニ上奏アラムコトヲ……

○子爵曾我祐準君 チョット伺ヒマスガ過日此追加豫算ヲ議シマシタ時ニ政府案ガ原案デゴザイマシタナ、今ノ上奏案ニ依リマスト衆議院カラ來マシタ案ハ修正案デゴザイマスガ斯様ナコトニ上奏案ノ中ノ文字デハ見エマスガ左様デゴザイマシタカ伺ヒマス、

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 夫レハ衆議院ノ修正議決案ト云フモノガ廻リマシタ日ニハ衆議院ノ修正議決案ト云フモノヲ議題トシテ議スルノデゴザリマス、去リナガラ政府ノ原案ト云フモノハ其節共ニ衆議院ヨリ廻付シ來タルモノデゴザリマス、

○子爵曾我祐準君 サウスルト原案ヲ二ツ議シマシタナ、政府案ト夫レト衆議院案ト、唯今ノ議長ノ御言葉ニ依リマスト二ツ原案ヲ議シマシタナ、

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 決シテサウデハゴザリマセヌ、原案ト云フモノト衆議院ノ議決案ト二ツガ廻ッテ來タ、其議決案ト云フモノヲ問題トシテ議シタト云フニ止マルノデゴザリマス、

○子爵曾我祐準君 過日……
〔子爵島尾小彌太君〕夫レハ委員ガ起草シタモノデアルカラ其上奏案ニ付テ疑義ガアレバ委員ニ向ッテ御質問ナサツテ宜シイ〔ト述フ〕

……夫レハ私ハドチラデモ宜シイ、併シ私ハ過日ノコトヲ伺フノデゴザイマスカラ委員デ御答ヘ下サレバ宜シウゴザイマスガ、私ハ却ッテ委員ハ變デアラウカト思ヒマス、過日議シマシタ時ノ心得ハ我々ハ政府案ハ參考本ダト伺ッテ居リマシタガ、唯今承レバ政府案ガ原案デアアルカト云フ餘儀ナク生ジタル疑デアリマス、

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 參考本ト云フコトハ決シテ申シテ居リマセヌ、○子爵平松時厚君 唯今ノ委員ノ起草案ハ二度デアリマシタガ十分ニハ會得シカネマスル、併シ現政府ノ提出案ヲ復活セシムルニ何ノ裁制モナイト云フ語ガアリマシタ様ニ覺エマス、其語ハ却ッテ不都合ノ語ト考ヘマス、若シ裁制ガナケレバ或ハ出來ナイト云フ反對論モ出來マセウト考ヘマス、所ガ素ヨリ正當ノ意見ナリト即チ本員等一同モ其論デアリマスカラ、ドウカ其邊ノ所丈ケラ少シク變ヘタイト思ヒマスガ、抜ク譯ニハ參リマスマイカ、抜イタラ却ッテ宜カラウト考ヘマス、

○男爵本田親雄君 唯今ノ委員ノ草稿デ上奏案ハ適當ナルモノト考ヘマス、賛成ヲ致シマス、

○子爵岡部長職君 本員ニ於キマシテモ唯今朗讀ニナリマシタル所ノ上奏案ハ至極適當シテ居ルモノト考ヘマス、速ニ滿堂ノ賛成アツテ可決ニナルコトヲ希望シマス、

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 然ラバ本案ニ付テ決ヲ採リマス、此上奏案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、
起立者 多數

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 過半数デゴザリマス、依ッテ此上奏案ニ決シマス、是レヨリ私ハ宮内大臣ヲ經テ御都合ヲ伺ヒマシテ謁見ノ上上奏書ヲ呈スルコトニ致シマス、依ッテ本席ハ細川副議長ニ讓リマシテ本員ハ上奏ノ方ニ取掛リマス、
〔議長侯爵蜂須賀茂韶君退席シ副議長細川潤次郎君著席ス〕

○副議長〔細川潤次郎君〕 唯今御聽及ビノ通りノ次第デゴザリマスカラ私ガ假ニ本席ヲ保チマス、
○子爵曾我祐準君 本案ニ付テ諸君ニ注意ヲ願フタメニ一言申上ゲ置キマス……チョット伺ヒマスガ會議ハ開ケテ居リマスカ、鐵道敷設法案ノ會議ニナツテ居リマスカ……早過ギマシタカモ知レマセヌ、

○副議長〔細川潤次郎君〕 チョット其事ヲ申サウト致シテ居リマス、即チ鐵道敷設法案午前引續キノ會議ヲ開キマス、

○公爵近衛篤磨君 本員ハ先決問題トシテ提出シタイコトガゴザリマス、夫レハ外デモゴザイマセヌガ元來此鐵道敷設法案ト云フモノハ政府カラ提出ニナツタ通りノモノデハナイノデアリマス、政府カラハ即チ此通牒文ニアル通り鐵道公債法案トシテ出テ居ルノデアリマス、夫レヲ衆議院ニ於テハ色々ナモノヲ一緒ニシテ委員會デ詰マリ一種別ナ物ヲ拵ヘタノデアリマス、是レガ果シテ政府提出ノ案デアリマセウカ、或ハ衆議院ノ提出案デアリマセウカ、私ハドチラトモ是レハ鑑定ガ附キマセヌ、斯ノ如キ曖昧ナモノハ本院ニ於テ議スベキモノデアラウカナカラウカト云フコトハ本議題ニ移ル前ニ決シテ置キタイコトト考ヘマスカラ此先決問題ヲ提出致シマス、

○子爵松平信正君 近衛公爵ニ賛成致シマス、
○子爵松平乘承君 近衛公爵ニ賛成致シマス、

○子爵小笠原壽長君 本員モ近衛公爵ノ動議ヲ至極賛成致シマス、
○侯爵久我通久君 賛成ヲ致シマス、
○村田保君 本員ハ是レハ政府委員ニデモ承リタイノデゴザイマス、政府

カラハ鐵道敷設法案トシテ出マシタモノデナイト思ヒマス、是レハ全ク衆議院デ斯ウ云フ名ヲ付ケタノデアル、サウシテ見マスルト政府カラ出タノハ鐵道買収法案トカ鐵道公債法案トカ云フテ出マシタノデゴザリマス、全ク此名稱デゴザリマスレバ決シテ政府提出案トハ言ハレナイト本員ハ思ッテ居リマス、一應政府委員ニ承リタウゴザリマス、

○子爵鳥尾小彌太君 先決問題ヲ先キニ決シタイト……
○政府委員(渡邊國武君) 唯今ノ村田君ノ御問ニ答ヘマス、是レハ政府提出案ノ修正デアリマシテ既ニ衆議院議長ヨリモ「右政府提出鐵道公債法案本院ニ於テ修正ヲ加ヘ議決セリ依テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也」此通りデ一向差支ナイコト考ヘマス、

○公爵近衛篤磨君 政府カラ提出ニナッタノハ鐵道公債法案デアリマシテ鐵道敷設法案デハナイノデアリマス、是レデモ政府提出ノ案デアリマセウカ、其邊ヲモウ一應伺ヒタイ、
○政府委員(渡邊國武君) 兩院トモニ法案ニ對シテ修正シ若クハ提出スルノ權ヲ持ッテ居リマスカラ修正スルコトハ一向差支カナイト政府ニ於テハ認メテ居リマス、或ハ題號デアレ或ハ本文デアレ一向差支ノナイコト存ジマス、

○山川浩君 此問題ハ隨分面倒ナコト考ヘマスカラ全院委員會ヲ御開ニナル様ニ希望致シマス、
○子爵曾我祐準君 贊成、山川君ニ……
○子爵板倉勝達君 山川君ニ贊成致シマス、
○子爵新莊直陳君 山川君ニ贊成致シマス、
○子爵松平乘承君 山川君ノ全院委員會ヲ開クト云フニ贊成致シマス、
○子爵谷干城君 山川君ニ贊成、
○子爵鳥尾小彌太君 山川君ニ贊成、
○子爵内藤政共君 山川君ニ贊成、
○男爵杉溪言長君 山川君ニ贊成、

○副議長(細川潤次郎君) 近衛公爵ノ先決問題ニシタイト云フ御動議ガ先キヘ出マシテ贊成者モゴザリスルカラ是レニ付テ決ヲ採ラズバナルナイト存ジマス、近衛公爵ノ先決問題ニ付スルト云フコトニ御同意ノ御方ハ起立ヲ請ヒマス、

起立者 少數
○副議長(細川潤次郎君) 少數デゴザリス、
○子爵五條爲榮君 山川君ニ贊成、
○副議長(細川潤次郎君) マダ少シ贊成者ガ足りマセヌ、

○男爵鶴殿忠善君 山川君ニ贊成、
○伯爵小笠原忠忱君 山川君ニ贊成、
○子爵小笠原壽長君 山川君ニ贊成、
○三浦安君 贊成、
○副議長(細川潤次郎君) 是レデ贊成者ハ足りマシテゴザリス、依ッテ山川君ノ全院委員會ヲ設ケルト云フ動議ノ決ヲ採リマス、山川君ノ説ヲ贊成ナサル諸君ノ起立ヲ請ヒマス、

起立者
○副議長(細川潤次郎君) 少數ト認メマス、
○子爵松平信正君 異議ヲ申立テマス、多數デゴザイマス、
○副議長(細川潤次郎君) 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス、
〔子爵曾我祐準君「議長」ト呼ブ〕
○副議長(細川潤次郎君) チョット……氏名點呼ヲ行ヒマスカラ……

○男爵伊達宗敦君 異議ガ出マシタカ、
○副議長(細川潤次郎君) 異議ガ出マシテゴザリス、夫レデ氏名點呼ヲ行フノデゴザリス、
〔氏名點呼ヲ行フ〕
○副議長(細川潤次郎君) 氏名點呼ノ結果ヲ報道ニ及ビマスルガ、總數百八十七人、内可トスル者七十人、否トスル者百十七人デゴザリスカラ成立チマセヌ、

○山川浩君 質問ガアリマス、委員ニ承リタイ、此本案ニ付イテ六千萬圓ノ公債ヲ募ルト云フ隨分大ナコトデアリマスガ、之ニ付テ公債ノ利子ト收支ノ損益ト云フモノハ豫メ豫算ガ立テテアリマスガ、其豫算ナク盲算デ六千萬圓ト云フデアリマスガ、夫レヲ承リマス、

○古市公威君 是レハ衆議院ノ方デ計算ヲシテ來タモノガアリマス、併シ勿論概算ト云フコトハ免レヌ、夫レハドウシテ算ヲ立テテ見タカト云フニ茲ニ五百萬圓ノ線路ガ今年出來ルト其翌年カラ三分ノ純益ガアル、其純益ガ一年毎ニ其純益ノ二分五厘ヅ、殖エテ行ク、サウシテ四分マデニ達スルト斯ウ假リ定メル、

○山川浩君 四分マデニ達スルノデスカ、
○古市公威君 四分マデ達スル、夫レカラ少々御待チ下サイ間違ヘルトイケナイカラ……毎年二厘五毛ヅ増シテサウシテ百分ノ四マデ達スル、
○山川浩君 チョット承リマス、一年毎ニ純益ノ二分五厘ト云フ見込デ夫レガ増シテ……
○古市公威君 増シテ百分ノ三デアッタモノガ百分ノ四マデニナル、

○山川浩君 二分五厘デハアリマセスカ、

○古市公威君 百分ノ三ト云フノハ資本ノ百分ノ三デスヨ、其純益ノ百分

ノ三ノ二厘五毛デス、サウシテ百分ノ四ニ達スルマデハ先ヅ行クモノ、夫レ

カラマダ既設ノ官線ガ段々連絡線ガ殖エルタメニ幾ラカノ收入ヲ増スト斯ウ

見マシテ、夫レガ現今ノ所デ純益ガ二百萬圓程アル、其二百萬圓程ノ純益ガ

アルノガ、毎年二分五厘ヅ、増シテ行クト見テ其二百萬圓ノ三割即チ六十萬

圓マデハ是レハ増スノデ……

○山川浩君 六十萬圓マデ増スト云フノハ既設鐵道ノ二百萬圓ニ對スル六

十萬圓デスカ、

○古市公威君 新設鐵道カラ出テ來ル純益ト夫レカラ既設鐵道ノ之ガタメ

ニ……新設鐵道ガ出來ルタメニ殖エル益ト此兩方ヲ合シテ計算シタモノガア

ルデス、サウスルト十七年目ニ至ツテ收支差引ノ無増減ニナツテ仕舞フ、デ是

レハ衆議院ノ見込デハ餘程純益ヲ小サク見テ居ル積リデアル、

○山川浩君 サウスルトチヨット承リマスガ、五百萬圓ヲ初年ニ費シタノ

ハ其年ニハ到底純益ノ見ヤウガナイサウスルト翌年ノ金高二對スル百分ノ三

ノ純益ガアラウト云フ見込デスカ、

○古市公威君 サウ、

○山川浩君 夫レナラバモウ一ツ承リマスガ、其間ノ年々費シテ置ク金ノ

補充利子ヲ與ヘテ行カチバナリマセヌナ、初年デモ二年目デモ三年目デモ十

七年目マデノ間ハ此金ハドコカラ出マスカ、

○古市公威君 夫レハ大藏省ノ政府委員ニ御尋ニナツタ方ガ能ク分リマセ

ウト思ヒマス、

○山川浩君 夫レハ政府カラ出スヨリ外ニ仕方ガナイノデスナ、

○政府委員(渡邊國武君) 山川君ニ御答ヲシマス、此政府ノ國債額ニハ御

承知ノ通り年々是レマデ二千萬圓ヅツ充テテアリマス、之ヲ以テ本ニシテ殘

リテ償却ニ供シテ居リマス、然ルニ其内業已ニ整理公債即チ一割乃至七朱ノ

公債ヲ償却シテ五朱ノ公債ヲ募ツタタメニ既ニ是レマデノ利子ニシテ百五十

萬圓以上減ジテ居リマスルカラ唯今ノ鐵道敷設ニ係ル未ダ鐵道ノ利益ガ揚ラ

ザル間ノ利子ハ今ノ二千萬圓ヅ、ノ内カラ支辨スルコトガ裕カニ出來マセウ、

○山川浩君 利丈ケヲ承リマス、凡ソ工事ノ竣功マデ支拂フ公債ノ利子ト

日本ノ公債ヲ規約通り整理公債五箇年据置キ……五十年規約ガ定マツテ永遠

公債デナイノデアアルカラ規約通りニ致シマスルニハ明治七十九年マデニ償却

スレバ宜シイノデアアリマス、前ニ申シマシタ計畫ノ通り二千萬圓ヲ以テ充テ

テ參ルト唯今現存シテ居リマス公債ハ明治五十六年ニ至ツテ償却シ得ル計

算ニナツテ居リマスカラ其間殆ド二十三年バカリアリマスカラ其間餘裕ヲ以

テ鐵道敷設公債ヲ償却ニナレバ十分償却ノ青ヲ盡スコトガ出來テ決シテ之ガ

タメ財政ニ困難ヲ來ス懸念ノナイコトハ先刻總理大臣カラ明言サレタ通りデ

アリマスカラ、財政上ノ關係ハ十分ニ御安心アツテ議セラレテ宜シイコトト

考ヘマス、

○子爵島尾小彌太君 是レハ委員ニ向ツテ質問致シマスガ委員長ノ御報告

ハ長々承リマシタ、併ナガラ夫レハ中ニハ承ツテ要用ダト思フコトモアリマ

ス、又左程デモナイト思フコトモアリマシタ、最モ承リタイト思フコトハ此

法案ノ性質ヲ委員ニ於テ十分ニ御取調ガナケレバナラス、其所以ト云フモノ

ハ政府カラ出シタ法案ハ私設鐵道買収法案ト一ツニハ鐵道ヲ起スタメニ

公債ヲ募ルト云フ法案、元ハ……今日衆議院カラ同ツタ所ノ法案ハ鐵道敷

設法案トアル、初メノハ私設ノ鐵道ヲ買入レル、其時ハ金ガ要ルカラ其金ノ

出シロコト公債ニシタイ即チ公債ヲ起スト云フ法案デアリマシタ、夫レハ委員

デモ其通りニ御認メデアッタラウト思ヒマス、所ガ衆議院カラ同ツテ來タ所ノ

モノハ鐵道ヲ敷設スル法案ト丸デ性質ガ違ツテ居リマス、其通りデ成程此公

債法案ト買収法案ト並ベテ見ルト政府ハドウカ鐵道ヲ拵ヘタイ、鐵道ヲ拵ヘ

ルニ就テハ公債ヲ募ツテ公債ヲ以テシタイト云フ此希望デ政府カラ法案ヲ二

ツ出シテアル、政府ノ希望ハ其通り現ハレテ居ル、此希望ニ依ツテ衆議院ハ

丸デ法案ヲ立替ヘテ仕舞ツタ、政府ノ希望ニ同意シテ其法文ニ丸デ同意シナ

イノデアアル、斯ウ云フコトニナル、サウ云フコトニナツタノデアアリマスカラ私

設鐵道買収法案ヲ否決シ鐵道公債法案ヲ否決シ更ニ衆議院ニ於テ鐵道敷設法

案ヲ提出シタ委ニナル、成程政府委員ガ辯明サレタ通り「政府提出鐵道公債

法案本院ニ於テ修正ヲ加ヘ議決セリ」トアルガ、是レハ文章上事實ヲ云フト

サウハ讀メナイ、右政府提出鐵道公債法案ヲ否決シ本院ニ於テ鐵道敷設法案

ヲ組立テタリト斯ウ云フコトニナル、例ヘテ見ルト二ツノモノヲ政府ガ出シ

タノダ、分リマシタカ、此二ツノ包ノ中ニ勝手ナ物ヲ片方ニ包ンデ……片

方ヘ以テイテ勝手ナ物ヲ包ンダ様ニ見エルガ是レハ本當ニ包ンダノデハナ

イ、風呂敷丈ケハ用非タカト云フト風呂敷マデ取ツテ水引丈ケ用非タト云フ

斯様ナ性質ノモノヲ貴族院ガ引受ケテオメオメト是レガ政府提出ノ原案ナリ

ト認定シテ議スベキヤ否ヤト云フコトハ第一番ニ委員ハ明ニ取調ベナケレバ

ナラヌ職務デアラウト思ヒマス、此事ニ就テ委員ハ如何御取調ニナリマシタ

カ明ニ答辯ヲ願ヒマス、

○古市公威君 如何取調ベタト云フ御言葉ノ意味ハ能ク解シマセヌガ、委員ハドコマデモ鐵道公債法案ヲ修正シテ送ツタモノト……成程修正シテ送ツタニ相違ナイ、鐵道公債法案ヲ否決シテ別ニ之ヲ組立テタリト云ッテ送ツテ來タノデナイ、修正案ト認メテ調査シマシタ、

○村田保君 本員モ委員ニ質問ヲ致シタイノデ、本員ノ考ヘマスルニハ此鐵道敷設法案ト云フモノハ精神ヲ貫イテ居ラナイ分ラナイ案ト考ヘマス、此第一條ノ趣意ヲ見マスルト云フト政府ト云フモノハ鐵道ヲ總テ敷設スルト云フ意味ニナツテ居ル、サウシテ見マスルト將來政府ハ鐵道ヲ自ラ敷イテ私設鐵道會社ニハサセナイト云フコトノ精神ガ第一條ニ現ハレテ居ル、既ニ第一條……總則ニ斯ウ書イテアリマス、政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ完成スルタメ漸次豫定ノ線路ヲ調査シ及敷設スト斯ウアリマス、是レデ見ルト政府ト云フモノハ必ズ鐵道ヲ敷設スルモノダト云フコトヲ第一條ニ示シテアリマス、然ルニ此第十四條ヲ見マスルト何事デアリマセウカ、斯ノ如ク第一條ノ總則ニ於キマシテ政府ト云フモノハ後來鐵道ヲ敷設スルト言ヒナガラ第十四條ヲ見ルト私設會社ニモ鐵道ヲ許シテ敷設セルコトガ出來ルト斯ウ云フコトガアル、サウスルト第一條ノ總則ニ政府ガ敷設スルモノデアルト言ッテ後ニ言ッテ嘘ヲ吐イテ舌ヲ二枚ニ使ッタ譯デアリマス、堂々ト初ニ立派ニ政府ガ鐵道ヲ敷設スルト言ヒナガラ後ニ行クト私立會社ニサセルトナツテ居ル、サウスルト一條ノ總則ニ立派ニ掲ゲテアル甲斐ハナイ、夫レナラ第一條ハ政府又ハ私立會社ハ云々ト鐵道ヲ敷設スルト云フコトヲ書ケバ宜シイ、誠ニ尻ガ拔ケタ様ニナル、即チ本員ハ此趣意ガ分ラヌ、夫レデモ政府ト云フモノハ後來自ラ敷設スルト云フ精神デアリマスカ、ドウ云フ精神デ成立ッテ居リマスカ、夫レヲ伺ヒタイ、

○古市公威君 委員ノ考デハ是レガ本案ノ妙ノ存スル所デ原則ヲ組ンデ定メテ置イテ、サウシテ如何ナル場合ガ將來ニ生ズルカ知レマセヌカラ幾ラカ將來運動ヲ妨害シナイ様ニ之ヲ設ケテ置イタノデ、勿論第一條總則ニ掲ゲテアリマスルカラ、夫レハ原則ニ相違ナイ、相違ナイガ必要ノ場合ニ於テハ議會ノ協贊ヲ經テ許可スルコトアルベシト云フ道ガ明ケテアリマス、至極穩當ナコトト思ヒマス、隨分本文ニ或ル規定ヲシテ置イテ、サウシテ但何々ト云ッテ夫レヲ全ク取消スコトガアル、又幾ラカ緩ミヲ附ケタ法文ハ隨分アルコトデ、村田君ナドハ御承知ノコトデアリマセウガ此例ハナイコトハナイコトト本員ハ考ヘマス、

○村田保君 本員ハ甚ダ唯今ノ說ニ感服シマセヌガ妙ダト言フナラ致シ方ハナイ、妙ダト云フコトニ就テハ本員ハ更ニ辯駁ハシマセヌガ、モウ一ツ伺

ヒタイコトガアリマス、是レハ其先キノ方デゴザイマス、線路ノ費用ヤ又ハ線路ヲ買上ゲルコトハ最モ國家歳出ニ係ルコトデアラウト思ヒマス、第十條第十一條ヲ御覽ニナレバ分リマス、第十條第十一條ニハドレ程ノ費用ハ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシト斯ウ書イテアル、所ガ今申ス通り線路ノ費用トカ或ハ線路ヲ買上ゲルコトカ云フコトハ固ヨリ是レハ國家ノ歳出デゴザイマス、國家ノ歳出デアレバ憲法第六十四條ニ既ニ帝國議會ノ協贊ヲ經ベシト云フコトガアリマス、憲法ニアリマスレバ此所ヘ何モ特ニ帝國議會ノ協贊ヲ經ベシト云フコトヲ掲ゲル必要ハナイ、何故ニ此所ニ掲ゲマシタカ、却ッテ之ヲ掲ゲテ見ルト鐵道ト云フモノハ政府ガ勝手ニ支出ガ出來ル様ニ見ユル、夫レノミナラズ我々ノ議決權ヲ持ッテ居ル權利ヲ却ッテ滅却スル様ニ見ユル、憲法ニ於テ國家ノ歳出ト云フモノハ帝國議會ノ協贊ヲ經ベシト云フコトヲ特ニ掲ゲテアルニ又此所ニ持ッテ來テ掲ゲタ理由ガ分ラナイ、何故ニ帝國議會ノ協贊ヲ求ムベシト掲ゲタカ、憲法ニ明文ガアルニ拘ラズ掲ゲタカ其邊ヲ一應伺ヒタイ、

○古市公威君 十條ノ文ハ三條ト御對照下サイ、三條ニ「鐵道工事ハ緩急ニ應シテ其期限ヲ數期ニ區分シ每期ノ工事ヲ繼續事業トス」トアッテ恰モ一期ノ工事ヲ殘ラズ繼續事業トスル様ニナツテ毎線路ノコトヲ規定シテナイ、第十條ノ眼目ハ毎線路ノ工費ノ豫算ヲ定メルト云フ所ニナラウト委員ハ認メマス、夫レカラ此十一條ノモ政府ハ其會社ト協議ノ上價格ヲ豫定シテカラ協贊ヲ經ルト斯ウ云フ處ニ此箇條ノ眼目ガアルモノト委員ハ認メテ居リマス、

○村田保君 尙ホ委員ニ伺ヒマスガ、夫レナラバ是レハ何デゴザイマスカ、豫算ニハ組ンデ出サナイノデゴザイマスカ、政府カラ豫算ニ組ンデ出スニ相違ナイデセウ、夫レヲ一ツ伺ヒタイ、

○古市公威君 勿論豫算ニ組ムノデアリマス、

○村田保君 夫レナラ何モ此ニ掲グルニ及バナイ、豫算ヲ組ンデ出スナラ何故ニ此ニ掲ゲマスカ、憲法六十四條ハ何ノタメニ設ケテアルカ、豫算ハ帝國議會ノ協贊ヲ經ベシト云フコトヲ憲法ニ掲ゲテアル、何モ此ニ掲グル必要ハナイ、實ニ是レ等ハ殆ド掲グル必要ハナシ却ッテ掲グルト云フト之ガタメニ人ノ疑惑ヲ生ズル、總テ其他ニモ色々此案ハ完全デナイト云フコトヲ考ヘテ居リマスガ、先ヅ是レ丈ケノ質問ニシテ置キマス、

○子爵小笠原壽長君 此問題ハ餘程重大ナル問題デアリマスカラ反對並ニ贊成ノ方々ニモ十分討議ヲ盡サル、コトト思ヒマスカラ、ドウゾ容易ニ討論終結ノ出マセヌ様ニ希望シテ置キマス、

○子爵曾我祐準君 此議案ノ化ケ方一件ニ付テハ先刻近衛公爵並ニ鳥尾君カラ出マシタガ、其儘矢張り川流レニ何處ヘカ往ッテ仕舞ヒマシタガ、滿場諸

君ノ御意見ハ如何デアリマセウ、修正ト云フモノハ斯ノ如ク性質ハ變ヘテモ議スベキモノカドウカト云フコトハ諸君一番ニ議スベキ條件ダラウト思ヒマス、夫レガナケレバ議シテモ駄目ナコトデアラウト思ヒマス、中ノ事ニハ色色議論ハ澤山ニアリマスガ、第一衆議院デ斯ノ如ク名稱ヲ變ヘテ送ッテ來テモ貴族院ハ議スルヤ否ヤト云フコトヲ一番ニ極メナケレバナラウト思ヒマス、諸君ドウゾ之ニ御同意アッテ其方ニ議論ヲ進メラレムコトヲ希望致シマス、

○子爵松平信正君 唯今會我子爵ノ發言ニハ最モ賛成ヲ表シマスル、鐵道敷設法案ヲ一覽致シマスルノニ殆ド鐵道ノ敷設計畫ヲ見ルガ如ク法律ノ體裁ヲ具ヘテ居ラスト本員ナドハ思ヒマス位デアリマス、斯ノ如ク換骨奪胎カ化生變造カ知リマセヌガ政府提出案ハナクナッテ參ッテモ之ヲ政府提出案トシテ議スルヤ否ヤト云フコトハ即チ今モ諸君ノ御考慮ニナッテ居ル所ト考ヘマスルカラ會我子爵ニ賛成ヲ表シ先ヅ議案ノ性質カラ諸君ノ御論究ヲ願ヒタウゴザイマス、

○山川浩君 會我君ニ賛成致シマス、是レハ決シテ議案ト云フモノハ成立ッテ居ラスト考ヘマスカラ是レハ議スベキモノデアリマスマイ、諸君モ御賛成アラムコトヲ希望致シマス、

○公爵近衛篤磨君 本員ガ先刻唯今會我君ノ言ハレタ通りノコトヲ提出致シタンデアリマスガ、夫レハ既ニ少數ヲ消滅致シマシタンデアリマスカラ、私ハ唯今望ムコトデアリマセヌガ再ビ會我君ガ此事ヲ提出サレテ滿場ガ之ヲ同意ト認メラレルナラバ本員ハ無論同意デアリマスカラ其事ヲ一言申シテ置キマス、

○岡内重俊君 唯今會我子爵ヨリ本案ハ議スベキモノナルヤ否ヤト云フ奇怪ナル説ガ出マシタガ會我子爵ハ議院法第五十四條ヲ御覽ニナリタイ、何トアリマセウカ、「甲議院ニ於テ政府ノ議案ヲ可決シ又ハ修正シテ議決シタルトキハ乙議院ニ之ヲ移ス可シ乙議院ニ於テ甲議院ノ議決ニ同意シ又ハ否決シタルトキハ云々」トアリマシテ即チ此五十四條ニ照シテ衆議院ヨリ貴族院ニ對シテ送付致シテゴザリマスル、又送付ノ文ニ「鐵道敷設法案、右政府提出鐵道公債法案ハ本院ニ於テ修正ヲ加ヘ議決セリ依テ議院法第五十四條ニ依リ送付ニ及フ」トアル少シモ疑ハゴザイマセヌ、殊ニ唯今近衛公爵ヨリ陳述ノアッタ通り此點ニ付テ先決問題トシテ此問題ヲ極メテバナラスト云フ建議ガ出マシタガ、即チ近衛公爵ノ證明サレタ通り少數ニシテ消滅致シマシタ、再ビ此事ヲ會我子爵ヨリ提出ヲ致シテ若シ此議場デ此問題ヲ決スルコトニナレバ一議案ヲ再議スル……一ノ議案ノ既ニ極ッタノヲ再ビ議スルト云フコトニナッテ決シテ議院法貴族院規則ノ許サマル所デアリマスカラ是レハ決議ニ付スベキモノ

ノデナイト思フ、其禁止アラムコトヲ希望致シマス、

○子爵會我祐準君 岡内君ニ今ノ御返答致シマスガ、私モ眼ガアリマスカラ衆議院カラ書イテ來タコトヲ讀ムコトハ知ッテ居マス、此位ノ字ヲ讀ムコトモ知ッテ居マスガ、併ナガラ衆議院ハ修正ヲ加ヘタト云フコトヲ云ヒマスガ修正修正ト云フコトハドレ位マデラ修正ト云フノデアリマスカ、是レガ議スベキ要點デアラウト思ヒマス、何トナレバ政府案ハ去ッテ仕舞ッテ夫レヲ妙ニ振ラシテ以テ來テ途方モナイコトヲシテモ夫レデモ修正ト云ハレマスカ、夫レデ私ハ夫レヲ通スカ通サカト云フコトニ疑ガアル、修正修正ト云フト一字修正シテモ修正デアリマス、然ラバ全部ヲ修正シテモ修正カト云フ斯ウ云フコトニナリマセウ、此案ハ殆ド全部ヲ修正シタモノデ幾分カ公債ノ部ニ至ッテ纔ニ公債ヲ募ルト云フコトノ文ガ入ッテ居リマス、是レデモ修正ト云フ皆サンガ御承知ニナレバ宜シイガ是レハ先例ニモ決シテナイコトダラウト思ヒマス、諸君御承知ノ通り本員ハ前會ノ終ニ議員ニナリマシタカラ碌々存ジマセヌガ日本帝國議會開會以來名稱マデ變ッテ修正ト云フノハ私ハナイト存ジマス、夫レデ始メテ起ッタ問題デアルカラ修正ト云フモノハ原案ガ一二分殘ッテ七八分ハ消滅シテモ、修正ト諸君ガ御認メニナレバ宜シイ、併ナガラ名稱マデ變リ、中ノ精神ガ二三分纔ニ殘ッテ居ッテ是レデモ修正ト認メルカドウカト云フ問デアリマス、

○副議長(細川潤次郎君) 會我君カラシテ唯今先決問題ニ類シタ言葉ノ變ッタ動議ガ出テ居ル様デゴザイマス、是レハ唯今近衛公爵ノ明言ヲ致サレル様ナ譯デ最早其事ハ既ニ少數ヲ消滅ヲ致シテ居ルト存ジマス、會我子爵ハ豫テ御通告ニモナッテ居リマスガ最早本問題ノ御意見ヲ御陳述ニナッテハ如何デゴザイマス、

○子爵會我祐準君 前キニ質問ヲ御許ヲ願ヒマス、政府委員ニ向ッテ、政府委員デナクテモ宜シイ、審査特別委員デ宜シウゴザリマス、夫レハドチラデモ御隨意デアリマスガ此案ニ付テ質問ガ段々アリマスガ幾ラカ陸軍ト云フコトモ此案ニハ考ノ入ッテ居リマスカ居リマセヌカ、全ク度外ニ置イテアルカ、此間ニ軍事ノ目的ト云フモノモ幾ラカ入ッテ居リマスカ、夫レガ第一ノ問、第二ノ問ハ先刻大臣モ國防上ニ必要ナリ政府ハ其目的ヲ達スル貫徹シ得ラル、モノト認メル故ニ同意スト總理大臣モ明言サレマシタガ、即チ其政府ノ目的ヲ貫徹シ得ルト云フノハ何ノ目的デアルカ、軍事ノ目的モ是レデ貫徹シ得ラル、ト云フノ目的デアルカ、或ハ經濟ナリ其他ノ目的デアルカ之ヲ御尋テ申シタイガ、大臣ハ御出ガナイカラ之ニ代ッテ答ヘル御方ガアレバ御答辯ヲ願ヒマス、今申ス通り軍事ト云フモノノ考モ入ッテ居ルノデアリマスカ、目的ヲ遂ゲルト云ハレマシタガ矢張り軍事上ノ目的モ此中デ貫徹シ得ラル、ト云フ

目的デアアルカト云フ問デアリマス、
○政府委員(岡澤精君) 御答致シマス、軍事上ノ必要ナ線路ハ此中ニ皆入ッテ居リマス、故ニ此修正案デハ軍事上デハ先ヅ十分デアラウト見込ンデ居リマス、

○政府委員(渡邊國武君) 唯今曾我子爵ガ先刻總理大臣ノ演説ニ付テ目的ト云フコトノ御尋デアリマシタガ、是レハ國防上經濟上ニ必要ナル鐵道延長完成ノ目的ガ大約遂ゲ得ルト云フ意味デアリマス、

○宮本小一君 今ノ曾我子爵カラ問ハレマシタノハ大抵分リマシタガ、本員モ少シ伺ヒタイコトガアリマスノハ軍事上ト申ストコソナニ大層金ヲ掛ケテ國債ヲ募ッテ御遣リニナルノニ北海道ノ方ノコトハ一モ之ニ載ッテ居リマセヌ、唯今北海道デハ二三ノ鐵道ガ出來掛ッテ居リマスガ……出來上ッタノモアリマスガ僅ニ五十哩七十哩バカリト思ヒマス、此又二十五六線ノ中ニハ經濟上ニハ必要ノ向モアルカ知レマセヌガ軍事ニハ極ニ不用ト見ユル所ガ入ッテ居リマス、肝腎ノ北海道ト云フノハ肝腎ナ處デアリマスガ、夫レハ一向詮議ノ沙汰モシナイト云フノハドウ云フモノデアリマスカ、此位金ヲ費スナラ内地ノ方ハ二三減ラシテモ北海道ノ方ヲ早クセテバナリマスモイト思ヒマス、夫レハ殖産興業上カラ見レバ是レモ必要デアリマセウガ軍事上カラハ最モ必要カト思ヒマス、然ルニ其方ハ一向シナイデ内地ノ方ヲスルノハ如何ニモ不思議ニ存ジマス、ドウカ是レハ一ツモウ一遍調査ヲ致シタイト本員ナドハ存ジマス、北海道ノ方ヲ陸軍ノ次官即チ政府ノ委員カラシテ御辯明ヲ願ヒタクゴザイマス、

○政府委員(岡澤精君) 北海道ノコトハ未ダ軍事上ノ鐵道敷設マデノ見込ガ著キマセヌ、計畫ハ未ダ立チマセヌデゴザイマス、

○子爵鳥尾小彌太君 北海道ノ計畫ハ立タヌト仰ッシャイマスガ原來修正案ハ政府ノ計畫ト云フモノハ殆ド皆破レテ居ル、夫レハ從來政府ガ殆ド解散ノ理由トシテマデモ在ラシヤル程ノ大問題デアリマス、其即チ鐵道公債法案ヲ敷設案ト切直シテ政府ノ計畫ヲ盡ク衆議院デハ破壊シテ居ル、夫レヲ以テ内地丈ケハ軍事ノ目的ガ立ツト云フコトハ頗ル本員ハ奇怪ニ思フ、北海道ハ立タナイ、内地ハ立ッテ居ル、夫レガ政府ノ元ノ原案ノ上デハ恐ラクハサウ云フコトガアルデアラウト思ヒマス、是レ即チ鐵道敷設法案ニ至ッテハ是レハ鐵道敷設策デス、是レハ法律デハナイ敷設策デアアル、一種ノ策ト云フモノデ五十年トカ三十年トカ或ル著述者ガ何カ夢ヲ見タ様ナコトヲ書キ出シタノデ夫レヲ即チ政府ヘ塗り附ケテ其責任ニ當ルト云フノハ是レコソ實ニ方角ノ立タヌ調ノ附カヌコトデアラウト思フ、其邊ニ就テハモウ一應政府ハ如何ニ此貴族院ニ向ッテ答辯ヲ御與ヘニナルコトハ政府ノ責任デアラウト思ヒ

マス、隨分是レハ大切ナ問題デ容易ナラヌコトデアラウト本員ハ思フカラ是レハ十分ニ政府委員諸君ハ御申合セニナッテ、此貴族院ニ對シ政府ノ責任ガ後來信用ノ立ツ丈ケノコトヲ御辯明ガナクテハナリマセヌ、餘程是レハ政府ノ出シタ法案ト衆議院ノ敷設法トハ大層是レハ計畫ガ違ッテ居リマス、其邊ノ所ヲ愈々政府ガ此敷設法ヲ引受ケテ我ガ責任トシテヤルコトニナリマスレバ十分ニ一ツ答辯ヲ願ヒタイ、

○政府委員(渡邊國武君) 御答致シマス、唯今ノ鐵道敷設法案ノ公債法案ノ修正ナルコトハ先刻モ申シテ置キマシタカラモウ幾々申ス必要ハナイト存ジマス、成程政府提出案ヨリハ幾分か修正ヲ加ヘテ居ルニハ相違ナイ、併ナガラ政府ノ提出シタノハ一箇年四百萬圓ヅ、九箇年ニシテ三千六百萬圓ヲ以テ鐵道ヲ敷設スルト云フ目的ヲ立テマシテ、先ヅ九箇年間ノ計畫ヲ立テタノデ、其上衆議院ニ於テ線路ヲ増シ又金額ヲ附ケ加ヘタノハ即チ今日政府ノ大目的トシテ居ッタ第一期二期トシテ目的ヲ立テテ置イタノヲ第一期ニ加ヘ、第一期ノ年限ヲ延ベマシタカラ其タメニ政府ノ目的トスルコトヲ遂ゲ得ルノミナラズ尙ホ將來ニ向ッテ決シテ差支ガナイカラ同意ヲ致シタノデアリマス、又此事ニ就テ政府ガ果シテ責任ヲ取ッテ實行スルヤ否ヤト云フ様ナ御問ガアッタ様デゴザリマシタガ是レハ無論ノコトデ總理大臣モ同意ヲ致スト明言致シタコトデアリマスカラ、是レハ御安心アッテ宜カラウト思ヒマス、

○男爵小澤武雄君 政府委員ノ今ノ御答ニ、此ドウカ敷設法案ノ通りニナレバ軍事ノ目的ヲ十分ニ達スルト云ハレマシタガ、段々質問モゴザリマスガ、一箇條先ヅ御問ヒ申シマス、豫定線路ノコトニ就テ一例ヲ擧ゲテ申シテ見ルト神奈川縣下八王子若クハ靜岡縣下御殿場ヨリ山梨縣下甲府云々ト斯ウ兩方ノ豫定線路ニナッテ居リマス、夫レデ是レカラ先キノ何處ニ於テドチラカラカニ極マル譯デアアルガドチラニ極ルヤラ分ラナイ、然ルニ此線路ハ東京カラ名古屋ニ連絡スル、即チ軍事ニハ必要ナ線路ト思ハレルンデス、然ルニ此東海道ノ線路ト云フモノハ海岸ニ暴露シテ軍事ノ用ヲ爲スコトハ難イト云フコトハ既ニ定ッテ居ルコトデアリマスガ、餘程此御殿場カラ甲府ノ方ニ行ク線路ヲ取レバ、即チ東海道國府津マデノ間ノ所ハ海岸ニ出テ居ルノデス、是レデモ軍事ノ目的ニ妨ナイト云フ御見込デアリマスルカ、丁度是レト同ジ様ナコトガ越後ノ直江津ノ線ニモアルノデス、其海岸ニ線路ガ出テモ差支ナイト御認メデアアルヤ否ヤノコトヲ承リタイ、

○政府委員(岡澤精君) 御答致シマス、御答致シマスル前ニ陸軍デ望ンデ居ル線路ト云フモノヲ一應申上ゲマシテ然ル上ニ今ノ比較線ノコトヲ御答ヘ致シマス、陸軍デハ此青森カラシマシテ縦貫線トシテ成ルベク海ヲ隔テ下ノ關マデ敷設シタイ、是レハ縦貫線ト陸軍デハ稱ヘテ居リマス、サウ致シマ

スト其縦貫鐵道カラ左右ニ分岐鐵道ヲ設ケタイト云フ趣旨デゴザリマス、其分岐鐵道ハ大畧十四線程デアリマス、夫レハ衛戍或ハ要塞其他軍港要港或ハ都府ト云フ様ナ所ヘ設ケタイト云フ趣旨デゴザリマス、夫レデ此線ハ第一師管内デハ東京カラ木更津ノ間、第二師管ニ於キマシテハ白河カラ若松ヲ經マシテ新發田ニ到ル、夫レカラ第三師管デハ岐阜ト金澤、甲府ト岩淵、第四師管ニ於キマシテハ大坂和歌山、京都ノ舞鶴線、第五師管デハ今治カラ徳島ノ線、夫レカラ川上カラ高知ノ線、廣島カラ吳ノ線、第六師管デハ飯塚カラ原田ノ線、久留米カラ山鹿熊本ノ線、有田長崎ノ線、熊本鹿兒島ノ線、佐賀佐世保ノ線、夫レ丈ケノ所ヲ必要ト望ンデ居リマス、夫レカラ縦貫鐵道ノ一部分ノ八王子甲府ノ比較線ノコトニ就テノ御尋デゴザリマスガ、素ヨリ陸軍デハ八王子ト甲府ヲ望ンデ居リマス、併ナガラ此線路ノ比較線路ガ愈極マルト云フモノハ夫レニモゴザリマスル通り能ク調査ヲシマシテ而シテ再ビ議會ノ協贊ヲ經ルト云フコトニナツテ居リマスルカラ、軍事上デハ必要ナル線路デゴザリマシテ本官ハ八王子カラ甲府ヲ經ルコトヲ望ンデ居リマス、夫レカラ直江津ノ線ノ御尋デゴザリマスガ素ヨリ唯今ノ線路ハ陸軍ニ於テ最モ必要ナ線デゴザリマス、其他ノ線ト雖モ全國ヲ網ノ如クニ敷イテ決シテ夫レヲ不必要ト云フコトハ認メマセヌ、最モ希望スル所デゴザリマス、直江津線ノ如キモ素ヨリ確實ナリト云フ譯ニハ參リマセヌ、或ハ敵軍ガヤツテ來タ模様ニ依ツテ戰時ト申シテモ活用スルコトガ或ハナイトハ明言ハ出來セマス、夫レ丈ケヲ御答致シマス、

○子爵會我祐津君 　私ハ軍事上デ御尋申シタイガ今ノ青森カラ九州マデ一線ニ貫クト云フコトハ是レハ軍事上カラ云フト實ニサウナクテハナラヌ、夫レ等ハ少シ軍事ヲ心得テ居ル者ハ皆サウ思フノデアアル、何故ニ此第一期ノ十二年間ニ其目的ヲ遂ゲテ居ラヌカト云フコトガ夫レガ軍事上ニ於テ大ナル疑デアアル、政府案ニハ夫レガ遂ゲテ居ラヌ、夫レ故ニ軍事ニ目ヲ著ケテ此線ヲ選バヌト何が起ツテ來ルカト云フニ、此京都ヨリ蘭部ヲ經テ舞鶴ニ至ル一線ト夫レト此處ニ土山ヨリ福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル是レハ比較線デアリマス、此中十二年間ニ一ツシカ行ハレヌ、サウシテ見ルト縦ヲ通ル線ト云フモノハドウシテモ兵庫ノ線ヲ用非ナケレバナラヌ、即チ山陽鐵道ト大阪ヨリ接續シテ居ル所ノ須磨明石ヲ經タルモノガ日本ノ脊骨ノ線路トナル、若シモ此比較線ガ京都舞鶴ヲ經テ福知山ナリ笹山ナリノ所カラ姫路近所ニ此線ガ續ケテ行クコトガ出來ルナラマダシノコト、併シ好ム所ハ左様デハナイ、現ニ參謀本部ニ出來テ居ル所ハ左様デハナイ、舞鶴ハ舞鶴線デアアルカラ暫ク許スガ、此線ガ續カヌ日ニハドウシテモ須磨明石ノ鐵道ヲ用非ナケレバナリマセヌ、須磨明石デハ日本ガ戰ヲ始メタ時ニハ軍隊ヲ送ラレル所ガアリマスカ、軍隊ヲ

送ラレヌヲカマハヌナレバ最早陸軍デハ東海道鐵道ヲ用非テモ心配ハナイト云フコトニナル、即チ陸軍デ云フ理由ヲ以テ須磨明石ヲ通レルナラバ何故ニ中山道中山道ト云フテ陸軍デ主張スルノカ丸デ分ラヌ、紀淡海峽ノ防禦ハイツ出來マス、假令三里ノ間ニ管ケ島ガアツテモ尙ホ海上ニ於テ陸軍一里モ隔テガアル、陸軍デ一里ノ間ハ今日防禦ハ出來マセヌ、是レハ中々急ニ到底出來ルカ出來スカ我々ハ覺東ナイト思フ、管ケ島ノ防禦ガ出來ヌ時ニハ須磨明石ニ鐵道ガアルノハ無用デアアル、管ケ島ノ防禦ガ出來ヌシテモ……鳴門ノ軍備ハドウナサル、先キノ内海ヲ經テ來ル時ハドウナサル、斯ノ如クスレバ須磨明石ノ所ニ於テ陸軍ノ用ヲ爲シマセヌ、敵ガ我カ日本ノヒドイ困ルコトヲアルガ敵ノ習デアリマス、困ルコトヲスルハ一番困ラセ易イ所ヘ來ルガ條理デアリマス、須磨明石ノ邊ハ如何デアリマス、政府委員ノ岡澤君モ本員モ數十回通ツテ敵ノ防禦ハ出來ヌ實ニ困ッタモノデアルト云フタ、是レハ陸軍普通ノ論デアリマス、斯ノ如キ所ヲ見逃シテサウシテ必要ト仰セラルレバ政府委員ノ辯明ト云フモノハ甚タ微力ノモノト斷言スルヲ憚ラナイ、現ニ舞鶴ヨリ九州ヲ通ル鐵道ハ夫レガタメニ接續ヲ失フデアリマス、夫レカラ山陽ノ鐵道ヲ延バシタ效能ハ是レガタメニ失フデアリマス、然ルニ我々ノ希望ハ東京ヨリ大阪即チ名古屋ヲ經テ大阪海岸ヲ距ル所若干里ヲ以テ尙ホ西ニ及ンデ廣島九州熊本ト、チャント連續スル様ニナケレバナラヌト思ヒマス、依ツテ此說明ヲ願ヒマス、

○政府委員(岡澤精君) 　唯今ノ御尋ニ東海道ガ舞子ヲ通レバ東海道ハドウト云フ様ナコトハ豫メ本官ノ御答スル譯ニハ參リマセヌ、ト云フモノハ夫レハ戰機ノ上ニ付テ論ヲナケレバナラヌコトデアリマスカ餘リ戰機上ニ涉リマスカラ夫レ丈ケハ御免ヲ蒙リマス、又縦貫鐵道附線トシテ京都カラ土山姫路近傍ニ線路ヲ欲シイト云フコトハ陸軍ノ希望スル比較線デアアルケレドモ既ニ此中ニ這入ツテ居リマス、夫レデ前ニ八王子ノ時モ申述ベシ如ク更ニ調査シテ議會ノ協贊ヲ經ルトキハ必ズ陸軍ノ目的ヲ達スル考デゴザリマス、又紀淡海峽鳴門ナド佐賀ノ關等ノ御話ガゴザリマシタガ、是レハ既ニ御承知ノ通り帝國議會ノ協贊ヲ經マシテ下ノ關ハ三十四年デゴザリマス、紀淡海峽ハ三十六年ニ落成スルコトニナツテ居リマス、又鳴門海峽藝嶽ノ海峽其他海防上ニ至ツテハ既ニ陸軍デ計畫シテ居リマス、夫レデ東京灣藝嶽紀淡海峽下ノ關或ハ對馬ト云フモノハ即チ第一期ノ工事中ニ這入ツテ居リマス、デ往々ハ固ヨリ内海ハ鎖シテ仕舞フノデアリマスカ決シテ舞子ノ線ガチヨットモ引當ニハナラヌ、固ヨリ確實ト云フコトハ或ハ如何デゴザリマセウカ少シモ役ニ立タヌト云フコトハ決シテゴザリマセヌ、夫レノミナラズ前申シマシタ如ク複線ヲ敷クコトニ付テハ此法案ニ這入ツテ居リマスカラ差關ナイト云フ考ヲ

持ッテ居リマス、

○子爵曾我祐準君 今比較線ハ私ニ見出シマセヌガチヨット之ヲ委員ニ御尋ヲ致シマスガ、即チ十一頁ノ尻カラ四行目ニナル所ハ此比較線ヲ見ルト舞鶴ハ何處カラ往クト云フ比較線ノ様ニモ見エマセヌ、今八王子ヲ引イテ答辯ヲナサルハ甚ダ無理ノコトト思ヒマス、舞鶴ニ往クニ京都カラ舞鶴ニ參ル鐵道ヲ引クカ若クハ兵庫縣下土山ヨリ京都府下福知山ヲ經テ舞鶴ニ至ル、是レ等ハ舞鶴ヘ至ル比較線デアリマス、故ニ此線ハ二ツ出來レバ成程京都カラ舞鶴ヲ經テ福知山ヘ振レナガラモ往ケル、ドッチカ一ツ出來テモ海岸ヲ隔テテ中國鐵道ニ連續スルト云フ答辯ノ御趣意カ、斯クデナケレバ宜イガ斯ク聞エタカラ之ヲ尋チマス、

○政府委員(岡澤精君) サウデハゴザリマセヌ、舞鶴ヘノ京都カラニハ比較線デナシニ出テ居リマス、夫レデ比較線ノ方ニモ出テ居リマス、夫レデ唯今ノ縦貫鐵道ノ比較線ト云フコトヲ述ベマシタガ其線ハ未ダ見エマセヌ、京都カラ蘭部笹山ヲ經テ姫路ヘ參ルノデ、姫路カラ生野ヲ經テ舞鶴ヘ出ル線ニスルカ或ハ姫路カラ笹山ヲ經テ福知山ヘ出ルカ又ハ蘭部ニ出ルカト云フ線ガゴザリマス、

○子爵曾我祐準君 私人第一期ノ所デ御話ヲ申シマス、ヤミクモ二十二年ノ後何百年後ノ御話ハ致シマセヌ、第一期第二章ノ部分デゴザイマス、

○政府委員(岡澤精君) 第二章ノ分ニハゴザリマセヌ、

○子爵曾我祐準君 然ラバ私ハ十二年後ノ御話ハ致シマセヌ、政府委員ハ十二年ウツチャッテ置クコトニ考ヘラレマス、スルト益、以テ驚入ッタコトデア

ル、其理由ヲ以テ此案ニ賛成ノナラヌ方ニナッタノデアリマス、

○子爵平松時厚君 隨分先刻カラ質問ニ付テ逐條議ニモ涉ル様ナ質問ガアリマシタガ、第一讀會ノコトデアリマスルカラサウ云ッテ質問致シテ居ッテハ實際ガアリマスモイト思ヒマスカラ、ドウカ逐條議ニ至ッテ意見ガアレバ十分ニ修正シ或ハ削除モ出來ルコトデアリマスカラ大體ノ質問ニ付テ本議ニ速ニ掛ラムコトヲ希望致シマス、

○山川浩君 先刻曾我君ハ此案ハ到底議案ニナッテ居ラヌ議スベキモデナイト云フ様ナ論ガ出マシテ本員賛成致シマシテ先刻近衛公爵カラ出タ先決問題ハ類似ノコトデアッタト云フ宣告デアリマシタガアレハ消エタノデアリマスカ、近衛公爵ハ先決問題ニスルカシナイカト云フコトニ本員ハ記憶シテ居リマスガ、先決問題ト共ニアノ發議マデ消エテ仕舞フノデアリマスカ、又ハ本員等ハ先決問題丈ケノコトガ消滅シタモノト思ヒマスガチヨット伺ヒマス、

○副議長(細川潤次郎君) 御答ヲ致シマス、即チ先刻本席ガ申シマシタル

通り近衛公爵ノ先決問題ト云フコトト又再ビ曾我子爵ヨリノ動議トハ辭ハ固ヨリ變ッテ居リマス、然レドモ其事實ハ必ズ同ジコトデアッタト認メマシタ、即チ其證據ニハ唯今近衛公爵ガ明言ヲ致サレテ既ニ自分ノ說モ一體ハ同意デアルケレドモ既ニ消滅シタ上ハ云々トゴザリシタカラ夫レ故本席ニ於テ同一ノコトト認メマシテ消滅シタモノデアルト云フコトノ宣告ヲ致シマシタ、若シ又其處ガ明瞭デゴザリセヌケレバ再ビ決ヲ採リマシテモ本席ニ於テハ一向差支ハゴザリマセヌ、

○三浦安君 唯今段々ノ質問ガアリマシタニ付テ平松子爵ヨリ御説ガアリマシタガ是レハ甚ダ其意ヲ得ヌ說デアリマス、斯ノ如キ議案ニ對シテハ一讀會ニ於テ飽マデモ質問ヲシテコソ議場一體ニ理由モ明瞭ニナリマス、政府委員モ幾重ニモ答フベキ義務デアリマス、況ヤ此案ハ衆議院ニ於テ格別ノ修正ニナリマシテ修正ヤラ新規ノ案ヤラ分ラヌ様ナ案デアリマス、固ヨリ政府カラ出タ案デアッテ稍、修正ヲ加ヘタ様ナ案デアレバ本院ニ於テ前以テ心得テ居リマスカラ詮議モ濟ムガ此衆議院カラ參タ案ト云フモノハ大層ノ違ヒニナリマシタノデ、然ルニ驚クベキハ委員會デゴザリマス、如何ナル手段ヲ用非マシタカ討論ヲ用非ラレマシタカ、此案ニ對シテ僅カ一兩日間ニ議了報告ヲシタト云フモノハドウ云フ詮議ニ出テ居リマスカ蓋シ無詮議ニシテ委員會ガ決シタモノデアアル、然ラバ議場ニ於テ委員會ガ盡サザル所ヲ盡スハ當然ノコトデアリマス、平松子爵ノ云フ如ク二讀會ニナッテ逐條議ニ致スト云フコトハ議場ノ發議ヲ閉塞セシムル意思デアアル、箇様ナコトハ言フベカラザルコトデアリマス、

○子爵平松時厚君 唯今三浦君ヨリ本官ノ唯今演說シタコトニ付テ陳述ガゴザリマシタガ、然ラバ三浦君ハ其位ニ調査特別委員ガ不都合ナリト云フ御考デアレバ寧ろ更ニ特別委員ヲ拵ヘラル、カ又ハ同一委員ニ付託シテ取調べナサレテモ苦シカラヌ故一言申ス、

○子爵曾我祐準君 唯今平松子爵ハ特別調査委員ヲ置クト云フ議論ニ承リマシタガ左様デゴザリマスカ、

(子爵平松時厚君) 三浦君ニ答ラシタト述フ

(子爵曾我祐準君) アナタハ置クノ考デハナイカト述フ

(子爵平松時厚君) ドチラデモ宜イト言ッタト述フ

(子爵曾我祐準君) アナタノ發言ナラ賛成シヤウト思ッタト述フ

○島内武重君 此案ニ付テハ先刻以來餘程議論ガ喧マシクナッテ居リマスガ何レ是レマデ政府ノ委員ニ對シテ質問ヲ起シ段々議論ヲ致シマスルノハ多クハ軍人諸君デアリマスル、其軍人諸君ハ本員ノ考ヘルニ此案ガ通過スベカラズト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアルト認定シマス、

〔子爵會我祐準君「無用」ト述フ〕

サウ致シマシタ所ガ到底果ツルコトデアリマセヌ、此鐵道ノコトニナリマス
ト諸君モ御承知ノ通り政府委員モ固ヨリ政府委員ノ説明セラレマシタ通り決
シテ此鐵道ヲ敷設シテカラ財政上ニ苦ミヲ來スコトハナイ、

〔子爵平松時厚君「差止ヲ願ヒマス」ト述フ〕

此案ノ通り鐵道ヲ敷設致シマシタナラバ我が日本帝國ニ利益ガアルト云フコ
トハ諸君ニ於テモ御承知ノ通り必ズ大ナル利益ト云フモノガ生ジマス、決シ
テ不生産的ノ事業デアアリマセヌ、洵ニ軍事上ト云ヒ其他殖産上……

〔村田保君「唯今ハ演說デアリマスカ演說ナラ通告ガアリマス」ト述
フ〕

我邦ニ利益アル問題デアリマスル、故ニ衆議院ニ於キマシテモ元ト政府カラ
出マシタ所ノ案ヲ修正ヲ致シマシテサウシテ本院ニ廻付セラレマシタ、此衆
議院ノ修正案ニ付キマシテモ政府ハ其精神ト云フモノハ同意デアアルガ故ニ同
意ヲシテ居リマスル、夫レデ……

〔子爵板倉勝達君「質問デナケレバ御差止ヲ願ヒタイ議長ハ質問ト御
認メデスカ」ト述フ〕

○副議長(細川潤次郎君) 本席ニ於テモ聞キマセヌ中ハ分リマセヌ、
○島内武重君 斯ノ如キ利益ノアルコトハ明デ一番分リ易イ問題デアアル故
ニ……

〔村田保君「通告ガアッテモ御許ニナリマスカ」ト述フ〕

特別修正委員ノ調ヲ要セズシテ速ニ議決ニナッテ居リマス、其議決ニナッテ事
柄ト云フモノハ是レハ利益ノアルコトハ分リ切ッテ居リマス故ニ速ニ修正……
…此審査委員ガ審査サレタモノト信ジマス、故ニ斯ノ如キノ問題ハ我が貴族
院ノ議員タル者ハ速ニ通過ヲシテ貴衆兩院ノ決議ヲシテ國益ヲ計ルト云フコ
トガ職分デアラウト思ヒマス、夫レデ又此鐵道ヲ我が全國各地ニ敷設スルト
云フコトハ當リ前ノコトデアアル、諸君モ御承知ノ通り日本ノ國ハ立憲政體ノ
國デアアル、東洋ノ文明國デアアル……

○副議長(細川潤次郎君) 島内君ニ申シマスガ、夫レハ別ノ御議論デハゴ
ザリセスカ、

〔議長御差止メ下サイ「無用無用」ト呼ブ者數名アリ〕

○島内武重君 是レ丈ケヲ申シテ置キマスレバ大概ハ御分リニナッテ思
ヒマスカラ御参考ノタメニ申シマス、

○子爵谷干城君 政府委員ニ質問ヲ致シタウゴザリマスガ、渡邊次官ハ出
テ居ラヌデセウカ、

○副議長(細川潤次郎君) 出テ居リマス、

○子爵谷干城君 ドウゾ少シ聴取り難ウゴザリマスカラ御氣ノ毒デゴザリ
マスガモットコチヲニ御出ヲ願ヒタイ、

〔政府委員渡邊國武君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君 私ガ一ツ此案ニ付テ伺ヒタイと思ヒマスノハドウモ私ハ
此鐵道敷設法案ト云フモノハ非常ニドウモ行政權ニ立入ッタモノデヤナイカ
ト思ヒマス、實ニ五十年デ出來ルカ百年デ出來ルカマダ先キノ知レナイ事柄
ヲ豫定シテ……豫定トハ言ヒナガラ計畫ヲシテ元ト政府ノ出シタモノヨリ非
常ナ大キナモノヲ出シテアル、是レニ御同意ノアルト云フハ隨分奇怪ナコト
ト考ヘマスル、修正ト云フコトニ此位ナコトヲシテモ一向支ガナイト云フ思
召デゴザリマセウカ、是レガ一ツ、夫レカラ此鐵道公債法案ト云フモノニハ
即チ三千六百萬圓トアル、夫レ丈ケノ請求ニナッテ居リマスガ、此鐵道敷設法
案ノ方ヲ見マスルト六千六百萬圓ト云フ非常ナ金額ニナッテ居ル、是レ等ノコト
ハ餘程重大ナ事柄デ如何ニ修正ト雖モ行政官ノ手ヲ經テ出來ヌコト、且ツ
金ト云フモノハ中々容易ナラヌモノデアリマスルカラ、寧ロ政府カラ出スモ
ノヲ幾分カ直切ラウトモ非常ニ増シテ出スト云フコトハ甚ダ是レハ怪シムベ
キ事柄デゴザリマスガ、之ヲ政府ニ於テハ至當ノコトト御認ニナッタノハド
ウ云フ譯デゴザリマセウカ、チヨット本員ナドノ考デハ殆ド此計畫ハ行政官ノ
權限ヲコチヲヨリ指圖シタト云フ様ニ見エル所ノ修正ト思ヒマス、一應御辯
明ヲ願ヒマス、

○政府委員(渡邊國武君) 谷子爵ノ御問ニ御答致シマスガ、第一ノ線路ノ
コトデゴザリマスガ、成程形ハ違ッテ居リマスガ當院ニモ廻ッテ居リマセウ、
當初ノ案ニハ政府ハ三千六百哩ノ敷設ノ必要アリト認メマシタカラ其計畫モ
説明中ニ加ヘテアッタト存ジマス、然ルニ衆議院ニ於テハ尙ホ修正ノ必要ア
リト認メマシテ豫定線路ヲ加ヘ、又第一期線路ニ他ノ或ル部分ヲ加ヘ金額モ
隨ッテ増シマシタ譯デアリマスガ、是レハ修正ノ權ヲ持ッテ居ル以上ハ已ムヲ
得ザルコトト考ヘマスノミナラズ尙ホ政府ニ於テモ更ニ考案ヲ盡シマシタ所
ガ政府ノ豫テ三千六百哩ノ敷設ヲ企テテ居リマスコトト云ヒ又之ガタメニ募
集スベキ公債金額ノ所モ唯政府ノ提出案ハ未ダ線路ヲ指定ナサザルノヲ線
路ヲ指定シマシタノデアリマスカラ差支ガナイ見込デ衆議院ニ於テモ總理大
臣ガ明ニ財政上差支ナキ趣ヲ以テ同意ヲ表シテ居リマス、ト申シマスモノハ
六千六百萬圓ハ隨分多額ナ様デアリマスガ十二箇年ニ致シマスレバ詰マリ一箇年
五百萬圓デアアルガ政府ハ大事ヲ取ッテ四百萬圓ト云フコトニ提出ヲ致シマシ
タカ是レニ百萬圓増シテモ財政上決シテ差支ナカラウ、此四百萬圓五百萬圓
ハ強チ夫レノミデナケレバ國債ガ募レナイト云フ計算デ出シタノデハナク自

ラ鐵道敷設法ノ中ニハ彼ノ製鋼所デモ出來上リマセヌ中ハれ一其外輸入品モアリマスカラ大イニ輸出入ノ不平均ヲ來ス様ナコトガアッテハナリマセヌカラ、夫レ等ヲ慮ッテ四百萬圓ニ致シマシタノデ更ニ之ヲ五百萬圓トシテ百萬圓増シマシタ所ヲ考ヘマシレバ凡ソ鐵道敷設法ノ中ニ三割乃至四割ガ輸入品ニ當ルト云フコトデアリマスカラサウ致シマシレバ五百萬圓アツタ所ガ三割デアレバ五百萬圓、四割デアレバ二百萬圓デ初メ政府ノ提出案トノ差ハ三十萬圓乃至四十萬圓ノ間ニ居リマシ、是レ丈ケハ増シマシテモ決シテ國債募集ノ上ニ差支ガナシ又輸出入ニモ變動ヲ來スコトハナカラウト見込ミマシタ故ニ即チ同意ヲ致シマシタノデ、是レハ新ニ衆議院ニ於テ目論見マシタノデモアリマセズ即チ政府提出ノ意思ガ分ッテ居リマシテ三千六百哩敷設ノ必要アリト云フコトデ諸マリ之ヲ各線路ニ分チテ豫定シタコトデ、或ル線路ヲ第一期ニ加ヘタト云フコトデアリマスカラ差支ハナイ見込デ同意ヲ致シマシタノデアリマス、

○子爵谷干城君　モウ一ツ伺ヒマス、今ノ三千六百萬圓ハ夫レデ分リマシタガ、六千萬圓募ル所ガ二千五百萬圓殘ル様デアリマス、夫レハドウナリマスカ、如何デアリマスカ、

○政府委員(渡邊國武君)　二千五百萬圓トハ……

○子爵谷干城君　此衆議院ヨリ廻ッテ居リマス鐵道敷設法案ノ金高ニナリマスト政府ノ公債法案ハ即チ三千六百萬圓デアリマス、サウシテ衆議院ノ方ノ側デ見ルト即チ六千萬圓デアアル、サウスルト其差ト云フモノハ即チ二千五百萬圓程餘計ナモノガ積ッテアル、其目的ヲ一ツ伺ヒタイ、

○政府委員(渡邊國武君)　是レハ即チ唯今申シマシタ通り政府デハ第二期以後ニ於テ敷設ヲ募集スベシト見込ミマシタノヲ衆議院ニ於テ修正ヲ加ヘテ第一期ノ方ニ入レマシタ、前ニ申シマス通り三千六百萬圓ニ二千四百萬圓ヲ増シマシタノハ大イナルコトノ様デアリマスガ、年額ニ割リマシレバ……十二箇年ニ割レバ一年五百萬圓デ之ヲ募集シマシレバ差支ナイノデアリマスカラ決シテ差支ガナイノデ同意ヲ致シマシタ、

○子爵谷干城君　サウスレバ夫レ丈ケノモノハ政府ノ事業ガ掛取ッテ往カウト云フコトデアリマスカ、例ヘテ見マシレバ百哩ノモノハ百二十哩ニ運ンデ往ク譯デアリマスカ、

○政府委員(渡邊國武君)　前ノ計畫デ往ケバ四百萬圓ノ仕事ヲシテ往ク所ヲ今度ハ五百萬圓ノ仕事ヲシテ往クコトニナリマス、夫レ丈ケハ短縮シテ往クコトニナリマス、

○子爵谷干城君　サウスルト今申シマシタ二千五百萬圓ト云フモノハ全ク衆議院ニ於テ否決ニナリマシタ鐵道買収法案ニ關係ハナイノデアリマスカ、

○政府委員(渡邊國武君)　夫レトハ別ニナッテ居リマス、鐵道買収法案ハ第四章ニカナッテ居リマス、

○子爵松平信正君　チヨット質問ヲ致シタウゴザリマス、

○副議長(細川潤次郎君)　松平子爵、

○岡内重俊君　既定ノ時間ニ付テ緊急動議ヲ出シタウゴザリマス、

○子爵松平信正君　發言ノ許可ヲ得テ居リマスカラ暫クドウゾ……唯今諸君ノ御質問デ本員ノ疑問モ分リマシタガ、此鐵道會議ノ組織ト云フモノハ大體ドウ云フ成立チデアリマスカ、之ヲ一應御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、夫レカラ十二條デゴザリマシタカ、唯今谷君モ御聞ニナッテ様デゴザリマスガ、私設鐵道買収ニ付テ公債ヲ募集スル共公債ノ額ハドノ位デアリマスカ、又私設鐵道會社ガ敷設ノ許可ヲ願出ヅルニハ必ズ帝國議會ノ協贊ヲ經テバナラス、是レハ成程帝國議會ノ協贊ヲ經ルト極ッテ居リマスカラ更ニ私設鐵道會社ニ許可ヲ與フルニハ議會ノ協贊ヲ經ルノハ順序デアリマセウガ、前ニドナタカ發言ニナッテ如ク行政權ニ立法權ガ立入ル嫌ヒハアリマセヌカ、此三箇條ヲ御序ニ御説明ヲ願ヒタウゴザリマス、

○政府委員(渡邊國武君)　第一ノ鐵道會議ノコトハ他ノ委員ヨリ御答致シマス、此十四條ノ御問デアリマスカ、

○子爵松平信正君　十二條ト十四條公債ノ額十二條ノ私設鐵道買収ノ公債額ニ就テ……

○政府委員(渡邊國武君)　十二條ノ私設鐵道買収ノ費用ハ公債ヲ發行シテ代價トシテ會社ニ交付スル是レニ就テ……

○子爵松平信正君　形ヲ變ヘマシタ以上ハ額ガ極ッテ居リマセヌカ否ヤ、凡ソ政府ニ於テハ見込ガアリマセウ、是レハ何レ六千萬圓ノ外ニ出ル費額公債額ダラウト存ジマスガ六千萬圓以外ニ若シ募ルモノナレバ凡ソ政府ノ見込デハ幾許ノ公債ヲ募ルト云フ見込デアリマスカ、

○政府委員(渡邊國武君)　是レハ當初政府ガ提出致シマストキニハ私設鐵道ヲ買上ゲル積リデアリマスカラ拂込株券ヲ目當テニ立テマシテゴザイマスガ、此第二條ニ依ッテ敷設スベキ線路ノタメニ買収ノ必要アリト認メルト云フコトハ能ク實測ヲ求メマシテ比較線路ナドモ定ッテ上デナイト御答ガ出來マセヌ、十四條ノ帝國議會ノ協贊ヲ經ルハ行政權ニ立入ル嫌ヒハアリハセヌカト云フ御尋ノ様ニ承リマスガ、是レハ既ニ第二條デ豫定線路ト云フモノヲ法律デ定メマシタ以上ハ……唯今ノハチヨット行キ違ヒマシタ、既ニ是レハ大體ニ於テ政府ハ帝國ニ必要ナル鐵道ヲ敷設スト云フコトヲ極メマシタ以上ハ之ヲ私設會社ニ許スト云フコトハ取除ケニナルカラ協贊ヲ求メルト云フコトデアリマス、宜シウゴザイマスカ……

○岡内重俊君 議事ノ時間ニ就テ緊急動議ヲ提出致シマス、既ニ時四時ニ至リマシタガ當會期ハ殆ド切迫致シテ居リマス故ニ本日ハ特別ニ六時マデ勉強致シテ本案ノ議決ヲ致シタイモノト考ヘマス、依ッテ本院規則六十五條ニ照シマシテ四時ノ時間ヲ延バシテ六時マデ延ベルト云フ緊急動議ヲ提出致シマス、願ハクハ贊成アラムコトヲ……

○子爵谷干城君 此問題ハ中々重大ノ問題ト考ヘマスルデ中々二時間位議シマシタ所デ到底一人カ二人此後意見ヲ述ベルニ過ギマセヌカラ迎モ……マダ質問ヲ致シタイコトモ段々アル方モゴザイマセウシ、到底六時マデ終ヘルコトナレバ六時マデナサレテ宜シカラウト思ヒマスガ、決シテ六時マデニ終ヘル事柄デナイト思ヒマスカラ延ベルコトハ必要デナイト考ヘマス、

○子爵會我祐準君 谷君ニ贊成デゴザイマス、マダ質問致シタイ箇條ガ二三十箇條ゴザイマスガ迎モ今日ハ出來マイト思ヒマス、

○副議長(細川潤次郎君) 唯今岡内君ノ御説モゴザイマシタシ谷君ノ御説モアリマシタガ、

〔子爵松平信正君「岡内君ニハ贊成ガアリマセヌカラ議題ニナリマセヌ」ト述フ〕

夫レデハ通告モ澤山ゴザイマスルデ迎モ今日中ニ決了致シマスマイト存ジマス、最早時刻モ參リマシタコトデ……明後日ノ議事日程ハ第一……

〔「聽エマセヌ」ト呼ブ者アリ〕

チヨット靜ニ御聞キ下サイ、衆議院ヨリ政府提出區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案ヲ受領致シマシタ、是レハ御報告致シマスルノデゴザイマス、之ニ就キマシテハ緊急事件ト申スコトデ政府ヨリ要求書ガゴザイマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス、

〔金子書記官長朗讀〕

區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案

右法案ハ緊急事件ニ付議院法第二十七條但書及ヒ議院法第二十八條但書ニ依リ議定相成度此段及要求候也

明治廿五年六月十一日

内閣總理大臣伯爵松方正義

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

○副議長(細川潤次郎君) ソコデ明後日ノ議事日程ヲ御報道ニ及ビマス、第一ガ即チ鐵道敷設法案、第一讀會ノ續、第二ハ唯今報告ニ及ビマシタ區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案、第一讀會、第三、砂鑛採取法案、第一讀會ノ續、第四、新聞紙法案、第一讀會ノ續、第五、出版法案、第一讀會ノ續、第六、府縣制第二十七條修正法律案、第一讀會、第七、右議案ノ審査

ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、此通リデゴザイマス、本日ハ御散會、午後四時九分散會